

MD GUIDE

—医療機器業界のTRENDガイドブック—

2023-2024

医療機器業界ってどんなところ？

- 医療機器業界の仕事
- 様々な医療機器の分野 など

医療機器業界の企業 66 社の情報掲載！

- 会社概要
- 最近のトレンド など



ヘルスケア・医療機器業界へようこそ!

それはいのちを支える仕事。

それはモノづくりを追求する仕事。

医療 × メーカー。ヘルスケア・医療機器業界とは、
二つのプライドを胸に働くことかもしれません。

医療を支える機器の進歩こそが、
現代医療の可能性を広げていくと信じて ...



『MD』って何の略?

『MD』は『Medical Device』の頭文字を取った言葉で、意味は医療機器です。(『Medical equipment』も医療機器という意味です)
『MD GUIDE』は『医療機器ガイド』という意味で、医療機器業界に関する情報をまとめたガイドです!

HELLO!!

皆さんは『ヘルスケア・医療機器業界』って知っていますか？

ヘルスケア・医療機器業界は皆さんの命や健康を支える仕事をしている業界です。

MD GUIDE では、ヘルスケア・医療機器業界の概要や医療機器の分野、業界で活躍する企業紹介など、様々な情報を一つにまとめています。

各社の最近のトレンドも掲載していますので、ぜひご覧いただき、業界、企業理解を深めていきましょう！

目次 - CONTENTS -

医療機器業界を知ろう！

P4 ~ 6

- 医療機器業界の市場
- 医療機器業界の特徴
- 医療機器業界の仕事

医療機器を知ろう！

P7 ~ 15

— 幅広い医療機器の分野

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)

日本医用光学機器工業会 (日医光)

商工組合 日本医療機器協会 (日医機協)

(一社) 日本医療機器工業会 (日医工)

(一社) 日本医療機器テクノロジー協会 (MTJAPAN)

(一社) 日本医療機器販売業協会 (医器販協)

日本医療用縫合糸協会 (日縫協)

(一社) 日本衛生材料工業連合会 (日衛連)

(一社) 日本画像医療システム工業会 (JIRA)

(一社) 日本眼科医療機器協会 (眼医器協)

(一社) 日本コンタクトレンズ協会 (CL 協会)

日本コンドーム工業会 (コンドーム工)

(一社) 日本歯科商工協会 (歯科商工)

(一社) 日本分析機器工業会 (分析工)

(一社) 日本ホームヘルス機器協会 (ホームヘルス)

(一社) 日本補聴器工業会 (日補工)

(一社) 日本補聴器販売店協会 (JHIDA)

(一社) 日本理学療法機器工業会 (日理機工)

(一社) 日本臨床検査薬協会 (臨薬協)

(一社) 日本医療機器ネットワーク協会 (@MD-Net)

企業を知ろう！

P16 ~ 51

- 掲載企業一覧
- 各企業の紹介

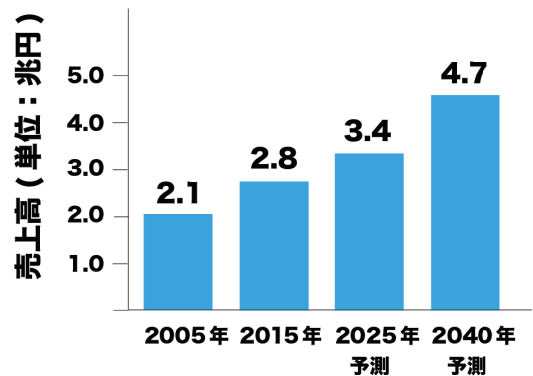


医療機器業界の市場

日本の市場規模

日本の医療機器の市場は、安定的に成長を続けています。1984 年では 1 兆円にも満たなかった市場が、2018 年には 3 兆円を超えました。

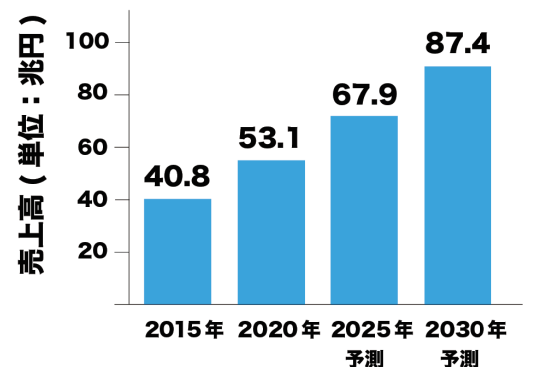
現在も市場は拡大しており、2025 年には約 3.4 兆円、2040 年には約 4.7 兆円まで拡大すると予測されています。



世界の市場規模

グローバル市場も、日本と同様にこれまで安定的に成長を続けてきました。

2015 年には約 40 兆円でしたが、2020 年には約 53 兆円にまで拡大。2025 年には約 68 兆円、2030 年には約 87 兆円まで拡大すると予測されています。



どうして成長するの？

医療機器の市場が拡大する理由は様々ありますが、特に大きな理由としては 2 つあります。

POINT1 健康意識の高まり

日本は平均寿命が世界で、今後人生 100 年時代になるともいわれており、より長く健康でいられることが求められてきます。



これを実現するため、生活のあらゆるものが健康を支えていくものになっていくといわれており、既にその流れは始まっています。

例えばスマートウォッチに健康管理機能が付いたり、スマートフォンのアプリで治療ができるようになったり、私たちの身の回りのものがヘルスケア・医療機器と結びついてきています。

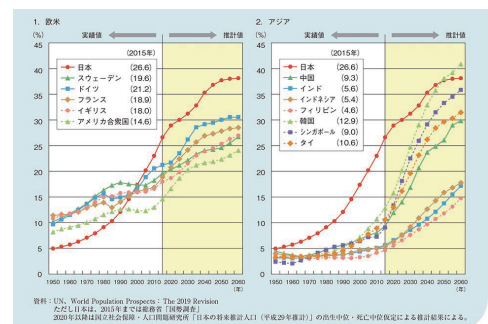
これからも医療機器がより身近なものとなり、我々の健康を一層支えるものとなっていくことでしょう。

POINT2 世界の高齢化

日本の 65 歳以上の人口割合は、2015 年時には約 26% でしたが、2060 年には約 38% になると予測されています。

高齢化は日本のみならず、世界でも進んでいます。世界の様々な国で 65 歳以上の人口が増え、高齢化率が高まります。

高齢になればなるほど、医療を必要とする人が増えますので、医療機器のニーズもより大きくなり、世界的に医療機器のニーズが高まることが予測されるため、医療機器市場の成長を後押しすると言われていいます。



医療機器業界の特徴

医療機器業界について、特に覚えて欲しい6つの特徴をご紹介します！

特徴 1

成長産業



医療機器産業はこれまで安定的に成長をしてきました。そして、健康意識の高まりや世界的な高齢化社会の到来により、これからも成長をする業界であるといわれています。

特徴 2

グローバル



医療機器に求められているものは国や地域の違いで異なることは少なく、日本で求められているものは、世界でも求められることがあります。そのような市場の中で、グローバルな舞台で活躍をしている企業もあり、世界で活躍できるチャンスを大に持っている業界です。

特徴 3

多様な人材が活躍



医療機器業界というと、「医療系もしくは理系出身の人でないと働けないのでは？」と思っている方が多いかもしれませんがそんなことはありません。医療機器業界は文系、理系、医療系など、様々な分野の方が活躍できる業界です。

特徴 4

様々な企業が活躍



医療機器業界の企業は誰もが知っている有名企業や、一般的にはあまり知られていないがグローバルでトップシェアを誇っているというニッチトップ企業、他にはない独自の技術や製品を持っている中小企業など、様々な企業が活躍しています。

特徴 5

社会貢献度が高い



医療機器の進歩は人の命を救ったり、病気やケガを治したり、患者の QOL(Quality of Life) の向上をしたり、多くの人のためになります。医療機器業界は医師や看護師などの医療従事者と共に、人の命を救うことや健康を支えることに貢献できる数少ない業界の一つです。

特徴 6

国が支援



医療機器業界は日本や海外で成長をしており、更なる成長を期待して国も後押しをしています。また、日本の課題の一つである「労働力の低下」の解決策の一つとして、医療機器産業の発展が鍵を握るともいわれており、これからの有望産業として期待されている産業です。

医療機器業界の仕事

医療機器業界には様々な仕事があります。今回は大きく4つに分けてご紹介！

主に活躍している先輩の分野も合わせて紹介します。

医療機器業界は文系理系問わず、様々な分野の方が活躍しています。



営業・流通・アフターサービス

医療機器の販売や情報提供、アフターサービスなどを行う業務があります。また、医療従事者のニーズをヒアリングして、製品開発や改善に活かすような業務もあり、医療従事者と会社を繋ぐ架け橋の役目があります。

主に活躍中の
先輩分野！

文系

理系

医療系



企画・管理・薬事

企画系ではマーケティング戦略や開発戦略、ブランディング戦略などの業務が、管理系では、会社を円滑に運営するために人や組織、お金、インフラなどを管理する業務があります。また、薬事系という、法規制対応を行う業務などもあります。

主に活躍中の
先輩分野！

文系

理系

医療系



研究・開発

新しい医療機器の研究・開発や、既存の医療機器の改良、他社製品の調査を行うなどの業務があります。様々な知識や技術を用い、日々新しい医療機器の開発や、既存の医療機器の改良を行っています。

主に活躍中の
先輩分野！

理系

医療系



製造・組立

品質を担保し、医療機器を安全かつ安定的に材料から部品・製品を生産することや、医療機器を生産するための生産設備の製作・メンテナンスなどの業務があります。医療機器を安定供給するために製品の量産を行っています。

主に活躍中の
先輩分野！

文系

理系

記載のない分野も活躍している先輩が全くいないわけではありません。

企業によっては活躍している先輩がいるところもありますので、ぜひ企業研究を進めてみてください。

一般社団法人
電子情報技術産業
協会
(JEITA)

日本医用光学機器
工業会
(日医光)

商工組合
日本医療機器協会
(日医機協)

一般社団法人
日本医療機器工業会
(日医工)

一般社団法人
日本医療機器テクノ
ロジー協会
(MTJAPAN)

一般社団法人
日本医療機器販売
業協会
(医器販協)

日本医療用縫合糸
協会
(日縫協)

一般社団法人
日本衛生材料工業
連合会
(日衛連)

一般社団法人
日本画像医療システム
工業会
(JIRA)

幅広い医療機器の分野

医療機器には様々な種類があり、それぞれの目的や用途に応じて私たちの健康を支えるために存在しています。例えば検査用、治療用、子供専用、眼科系、歯科系など、分野は多岐にわたります。

そのため、医療機器業界には多くの企業が存在し、様々な分野毎に活躍をしています。そして、各企業が協力して業界全体を盛り上げるために、業界をとりまとめる組織や、分野ごとに協力し合えるように団体となり活動をしています。

ここでは、各団体の取り組みや活動を通して、医療機器業界の幅広さをご紹介します。

一般社団法人
日本眼科医療機器
協会
(眼医器協)

一般社団法人
日本コンタクトレンズ
協会
(CL 協会)

日本コンドーム工業会
(コンドーム工)

一般社団法人
日本分析機器工業会
(分析工)

一般社団法人
日本歯科商工協会
(歯科商工)

一般社団法人
日本補聴器工業会
(日補工)

一般社団法人
日本ホームヘルス機器
協会
(ホームヘルス)

一般社団法人
日本補聴器販売店協会
(JHIDA)

一般社団法人
日本理学療法機器
工業会
(日理機工)

一般社団法人
日本臨床検査薬協会
(臨薬協)

一般社団法人
日本医療機器ネット
ワーク協会
(@MD-Net)

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)

● 日本が生み出した検査機器

パルスオキシメーター・超音波診断装置・血圧脈波検査装置・生体情報モニタ

現在懸念されている「生活習慣病予備軍の増加」をくいとめるために、以上挙げた3つの機器、パルスオキシメーター、超音波診断装置、血圧脈波検査装置は、これからますます活躍しそうです。JEITA ヘルスケアインダストリー部会は、これらの機器を始めとする医療機器やシステ

JEITA



ムの開発のために、「治療」はもちろん「予防」の観点からも、研究開発や普及に力を入れています。



生体情報モニタ



血圧脈波検査装置



超音波診断装置

日本医用光学機器工業会 (日医光)

● 光を扱う医療機器

患者にやさしい診断・治療を提供

日本医用光学機器工業会は、これら眼鏡レンズや内視鏡、眼科用の医療機器など、医用光学機器を製造又は輸入・販売する企業が集まり、親睦を図りながら協力して業界の諸問題に対応しています。

医用光学機器を発展させることで医療の進歩に貢献し、

JMOIA



また社会の福祉に寄与することを目的としています。



眼鏡レンズ



眼科向け医科機器

商工組合 日本医療機器協会 (日医機協)

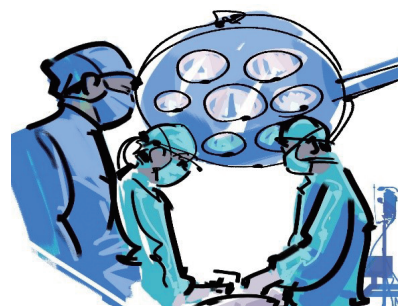
● 診断用治療用医療機器

販売支援、薬事支援、医工連携支援

医療機器の中には「中小企業の腕」が光るものが多いです。鋼製小物のように「職人の腕」が直接手術現場を支えているものもあります。商工組合 日本医療機器協会は、上記の鋼製小物を含めた医療機器の製造や輸入、販売、サービスなどを業とする中小企業を中心に構成される団体です。団体としての歴史は実に本年で 112 年を迎え、日本で一番歴史のある団体です。



医療機器産業の活性化や国際競争力の強化など、目標を高く掲げて従来の発想にないさまざまな事業活動を展開していきます。



一般社団法人日本医療機器工業会 (日医工)



● 過去から未来へ医療の進歩に貢献する

日医工は、日医工ビジョンに基づく 5 つのキーワード (発信・提言、安心・安全、医療機器開発、海外展開、企業倫理) を基本として活動しています。

人工呼吸器、麻酔器、手術用電気メスをはじめ、多彩な医療機器の安全性の追求や医療機器の開発、規格化などに取り組み、日本の医療の進歩を支える医療機器の安定供給、及び国内医療機器業界の健全な発展に貢献しています。



人工呼吸器



麻酔器



手術台



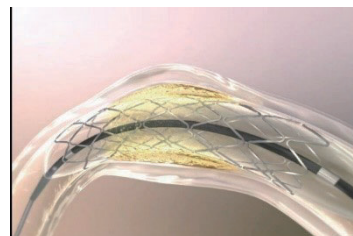
鋼製小物

一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会 (MTJAPAN)



● 世界の医療の質の向上 & 日本の医療機器テクノロジー産業の振興に貢献

注射器具、血液バッグ等の汎用品、各種手術用機器、血液透析・体外循環関連製品、各種カテーテル、人工関節等の整形インプラント、創傷被覆材等、幅広い医療機器を製造販売する医療機器メーカー等約 300 社を会員企業とする MTJAPAN は、医療機器、医療材料に留まらず、再生医療、ICT、医療用ソフトウェア、医療システム等に広がる技術分野の広がりを「医療機器テクノロジー」という言葉で表し、安全でかつより革新的な医療機器テクノロジーを速やかに提供することにより、日本をはじめ世界の医療の質の向上と日本の医療機器テクノロジー産業の振興に貢献しています。



冠動脈ステント



人工関節



PTCA カテーテル



人工腎臓

ロゴマークの由来

Medical の頭文字 M が地球を表す球をやさしく包み込んだイメージで、世界の医療の質の向上への貢献を表現。ブルーは革新的な医療機器テクノロジーを表現。

一般社団法人日本医療機器販売業協会 (医器販協)



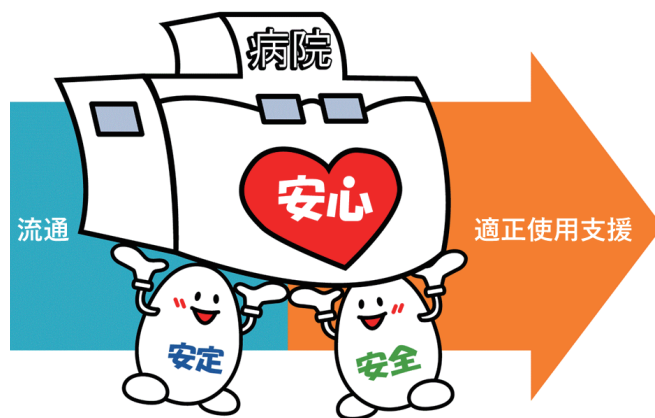
● 医療を支える～すべては患者さんのために～

医療機器販売業は医療機器・医療材料の安定供給を通して、患者さんの安全と医療制度維持の一翼を担っています。

医療機器販売業はメーカーが作った医療機器を医療機関等に対して安定的に供給するだけでなく、医療機器の安全性の確保、緊急時の対応など日々のきめ細かいサポートに加え、保守点検や手術・検査等に関連した技術的支援など医療機器が正しく使用されるための総合的な支援「適正使用支援業務」を担う重要な役割もあるのです。医療機器販売業は、「適正使用支援業務」を通して医療機関の幅広いニーズに応え、医療安全のサポートを行っているのです。それと同時に、大災害時やパンデミック時における業界を挙げての取り組みは、全国津々浦々で事業展開している医療機器販売業だからこそ可能な緊急対応であり、医療インフラとしての役割が期待されています。

医療の高度化・多様化に加え医療機器の急速な進歩により、手術・検査等の関連機器は複雑化しています。そこ

で、日本医療機器販売業協会は、高度化する医療を支えるために、高い倫理観、責任感を持った人材の育成を図ると同時に、国や関連団体とともに医療業界発展に向けた活動を展開しています。



日本医療用縫合糸協会 (日縫協)



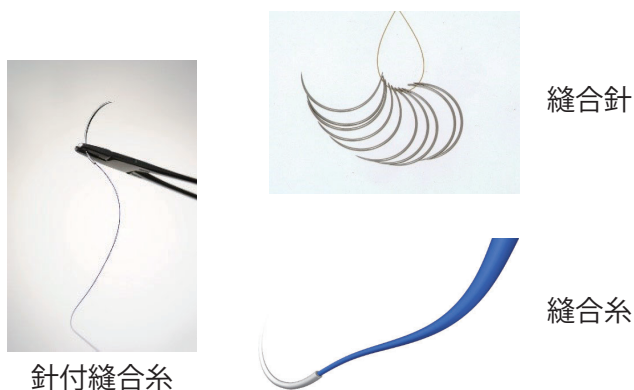
● 組織と組織をきれいにつなぐ

吸収性縫合糸・非吸収性縫合糸

「マイクロサージャリー」という言葉をご存知でしょうか？顕微鏡を使用して行う微細な手術のことです。たとえば、切断された指を再びつなぎ合わせるなど、昔なら不可能だった手術が、「マイクロサージャリー」によって現在では可能となっています。顕微鏡下で微細な血管や神経などをつなぎ合わせ、機能を回復させるのです。極細の縫合糸や縫合針が誕生したからこそ可能となった手術です。このように縫合糸や縫合針は、外科医師の熟達した腕を支える大切な医療機器となっています。

日本医療用縫合糸協会は、優秀な医療縫合糸・縫合針の生産、輸入、販売を通じて医療の進歩と国民の健康、福

祉に貢献し、合わせて国際的な視野に立った業界の地位確立と健全な発展を図るために、さまざまな活動を展開しています。



一般社団法人日本衛生材料工業連合会 (日衛連)

JHPIA
Japan Hygiene Products Industry Association



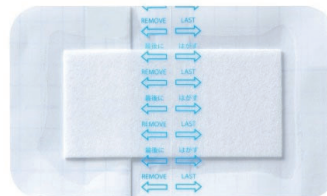
● 健康のためのディスポーザブル衛生材料

衛生材料・衛生用品

医療ガーゼ、医療脱脂綿、生理用タンポン、救急絆創膏、
家庭用創傷パッド

衛生材料や衛生用品は、使い方を誤ると健康に影響を与えてしまう場合もあるため、製造販売業者や販売業者は、品質の向上や啓発活動などを協力して行い、国民保健の向上を図っています。たとえば、生理用タンポンでは、吸収体の原料として古綿、古紙などの古材を用いてはならないなどの、ガイドラインで決められています。医療ガーゼ、医療脱脂綿、救急絆創膏においては自主基準を制定し、品質を厳しく管理しています。また、トキシックショック症候群について、医師にも詳しく知ってもらうための活動を展開しています。

一般社団法人日本衛生材料工業連合会は、衛生材料や衛生用品の関係業者が協力して品質の向上を図り、業界の発展を図るとともに、国民保健の向上に寄与するために、設立された団体です。海外の関連団体とも積極的な交流や情報交換を行い、産業活動の国際化に対応しています。



カテーテル被膜保護剤



不織布製の包帯



被膜保護用

一般社団法人日本画像医療システム工業会 (JIRA)

JIRA 一般社団法人日本画像医療システム工業会



● 最新のデジタル技術を使い予防・診断・治療の現場で広く活躍

1895年にレントゲンがX線を発見して以来、「身体の内
部を見る」ための技術開発が進められて来ましたが、X
線 CT 装置や MRI 装置をはじめとする各種画像診断機器
の開発に続いて、それらの画像を効果的に処理する「IT
技術」により医学が大きく進歩しています。

より細部まで観察、診断できることで、治療方針がさら
に正確となり、切除する範囲を縮小することが可能とな
りました。

それは、術後の QOL(生活の質)の向上にも大きく貢献
しています。

一般社団法人日本画像医療システム工業会 (JIRA) は、
1924年にX線装置メーカーと輸入販売業者7社によっ
て設立された協議会から、今日では画像医療システムを

担う会員数約 200 社の団体となり、業界の発展、医療の
向上を目指して歩み続けています。



X 線 CT 装置

一般社団法人日本眼科医療機器協会 (眼医器協)



一般社団法人
日本眼科医療機器協会

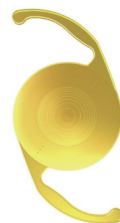


● 診断から治療まで眼科医療を支えます

白内障や緑内障、加齢黄斑変性（AMD）などの眼底疾患、糖尿病などによる眼の疾患は、今後高齢社会の進展につれてますます増えていくでしょう。

「オートレフケラトメータ」や「レーザ光凝固装置」を始め、超音波白内障手術や眼内レンズ、硝子体手術装置、コンピューターを駆使した検査・診断機器など眼科医療機器の発展は目覚しく、検査・診断、手術の精度や安全性の向上が求められています。眼の疾患の治療機関に、「より有効」で「より安全」な眼科医療機器を「より早く」

供給し続けるために、（一社）日本眼科医療機器協会は眼科医療機器の開発・製造・提供にたゆまぬ努力を続けています。



眼内レンズ



非接触眼圧計

一般社団法人日本コンタクトレンズ協会 (CL 協会)



一般社団法人
日本コンタクトレンズ協会



● 正しく使おう！コンタクトレンズ

「人が得る情報の 80% は目から」と言われるほど、目は大切な器官。コンタクトレンズの使用方法をうっかり間違ったために目を痛めてしまうことは避けたいものです。日本コンタクトレンズ協会は、コンタクトレンズの発展に寄与するとともに、正しい使い方の啓発活動や、「適合マーク」の認定などさまざまな活動を展開しています。

また、2011 年 3 月の東日本大震災の際には、コンタク

トレンズやケア用品をなくして困っている方々のために、メーカーと協力して被災地にコンタクトレンズやケア用品を送ったり、窓口となる眼科の紹介を行ったりしました。これをきっかけに「災害時の支援システム」の構築にも取り組んでいます。



コンタクトレンズ

日本コンドーム工業会 (コンドーム工)



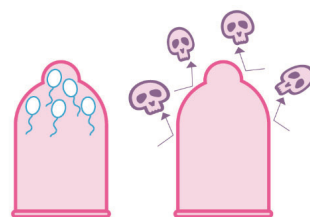
日本コンドーム工業会
Japan Condoms Industrial Association



● 大切なコミュニケーションのために

「草食男子」という言葉も生まれるほど、日本の若者は「セックスによる緊密な男女のコミュニケーション」から遠ざかる傾向にあるようですが、男性と女性が信頼し合い愛し合えばセックスをするのは当たり前のことです。その場合に、正しい知識を持って、コンドームを使うことをおすすめします。コンドームメーカーの中には、多くの人に正しい知識を持ってもらうために、たとえば

大学祭でアイドルを呼んでイベントを行うなどのさまざまな啓発活動を行っています。製品としての品質や規格、安全性などの追求も行っています。



避妊と性感染症予防のため

一般社団法人日本歯科商工協会 (歯科商工)



● ～健康長寿は健全な口腔維持から～ 歯科医療を支える歯科医療機器産業

超高齢化社会の中で健康寿命を維持することは極めて重要です。歯科界で取り組んできた 80 才で 20 本以上歯を残す 8020 運動の達成率は、5 割を超えるようになりました。それとともにう蝕（むし歯）の数は大幅に減少していますが、成人の 7 割が歯周病に罹っていると言われています。歯周病と心筋梗塞や糖尿病などとの関係が確認されていて、口腔の健康と全身の健康が密接に関係していることが知られるようになりました。歯科検診率が向上し、キュアからケアに重点が移ってきています。また、自然観のある歯や歯並の美しさやよく噛めて美味しく食事したいなど患者さんの多様なニーズに対応するため、接着剤やセラミックスなどの新素材、インプラントや審美歯科、歯列矯正などの診断・治療分野に新しい医療技術が導入されています。近年では、デジタルデータを用いた 3D 画像、口腔内スキャナー、CAD/CAM、3D プリンターなどを応用したデジタルデンティストリーが大きく発展しています。口腔の健康を守るために一般社団法人日本歯科商工協会は、歯科医療の診断・治療に用いられる医療機器、歯科材料、歯科用薬品などの製造、製造販売、販売に携わる 8 つの団体を会員とし、臨学産で連携し歯科医療の発展に取り組んでいます。



アーム型 X 線 CT 診断装置



歯科用レーザー装置



歯科用 CAD/CAM

一般社団法人日本分析機器工業会 (分析工)



● 微量血液で臨床検査に貢献

疾病を治療するためには、まず正しい診断が必要です。（一社）日本分析機器工業会 医療機器委員会は、医療分野で活躍する分析装置の開発や普及に取り組んでいます。新型コロナウイルス等を検出する PCR 検査装置を始め、免疫血清検査装置や各種血液検査装置、尿検査装置、微生物検査装置、病理検査装置など臨床化学検査装置と呼ばれる医学に欠かせないさまざまな検査装置や分析機器を取り扱い、日々の医療の発展に寄与しています。



生化学自動分析装置

一般社団法人日本ホームヘルス機器協会 (ホームヘルス)



● ホームヘルス機器は、あなたの健康と美容をサポートします

当協会は、家庭で使用する家庭用医療機器、家庭用美容機器・健康機器、健康管理機器及び健康増進機器（ホームヘルス機器）に関する品質・安全性の確保及び販売の適正化等に取り組んでいます。近年、健康寿命の延伸等を目指すため、人の健康・美容の増進、QOL(生活の質)の向上を目的とする機械器具等を「健康増進機器」として認定する事業を実施しており、この機器等の認定と普

及に努めることにより、我が国の健康寿命の延伸に寄与していきます。ホームヘルス機器は、超高齢社会において果たす役割が益々大きくなってきていますので、ホームヘルス機器の普及等に努めて参ります。



電子血圧計



マッサージ器

一般社団法人日本補聴器工業会（日補工）



一般社団法人日本補聴器販売店協会（JHIDA）



● 健やかな聴こえで健康長寿

● 補聴器購入情報・きこえのお手伝い

近年の補聴器にはワイヤレス（無線通信）機能を搭載したものが登場し、テレビや携帯電話の音を直接補聴器で聞くこともできるようになりました。

日本補聴器工業会と日本補聴器販売店協会は、今後も補聴器の開発・普及を進め、補聴器を通じて人々の健康に

貢献し、質の高い生活の実現に寄与したいと考えています。高齢化の進む日本では、補聴器を利用する人口も増えていくでしょう。多くの人にぜひ関心を持ってもらいたいです。



補聴器

一般社団法人日本理学療法機器工業会 (日理機工)



● 痛みの緩和と障害の早期回復を

一般社団法人日本理学療法機器工業会は、安全で有効性の高い高品質な医療機器が提供されるようメーカーや販売業者が協力する団体です。理学療法機器産業の発展に貢献するために、薬機法や PL 法等の施行に対応した情報を会員に提供しながら、われわれの健康に役立つ理学療法機器の開発・普及を目的として活動しています。

当協会が重視しているのは「EBM：Evidence-Based Medicine」と言って、「根拠に基づく医療」です。根拠を明らかにし、科学的に裏付けのある治療を行い、医療の質の向上を目指しています。この他、障害の早期回復を目指す理学療法機器を科学的にも臨床的にも有効性が認められたものにするために、大学や病院などの医療の

学術的分野や現場と連携し、絶えず情報交換を行っています。



低周波治療器

一般社団法人日本臨床検査薬協会 (臨薬協)



● あなたと医療と未来を結ぶ臨床検査

臨床検査薬や体外診断用医薬品という言葉は、一般の方からすると馴染みのない言葉でしたが、最近では、健康診断での血液・尿検査を通じて、また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）での『PCR検査』や『コロナ抗原検査』として、多くの方に知られるようになってきました。

体外診断用医薬品は厚生労働省で承認を得たもので、診断に用いることができ、一般的には保険適用を受けている医療用の臨床検査薬です。臨床検査は、体外診断用医薬品単独で用いられるものもありますが、医療機関においては、ほとんどが検体検査用医療機器と組み合わせて使用されています。

(一社)日本臨床検査薬協会(略称;臨薬協)は、日本国内で人または動物用の体外診断用医薬品や検査用試薬及び検査用機器などを製造(輸入)し、主に医薬品卸売業者を通して国内の医療機関等に供給するとともに、開発した臨床検査薬等を広く世界に導出を図り、人々の健康の保持増進及び医療福祉の向上に貢献している企業によって組織された団体で、現在の会員数は約140社を数えます。

● 国民の健康に役立つ臨床検査を目指して

新型コロナウイルス感染症への対応等、医療環境は変化しており、それに伴って臨床検査に求められる役割も刻々と変化しています。最近では、薬剤耐性や個別化医療、治療方針の決定等に有用な検査が開発され使用されるようになってきました。臨薬協の会員企業は、これら医療現場の要望に応えるべく品質の高い検査薬の安定供給と共に、イノベーション基盤を強化し、新たな検査法・検査薬の開発に努めています。臨薬協は、業界を取り巻く変化に対応し、臨床検査薬業界団体としての役割を果たすべく活動しています。



一般社団法人日本医療機器ネットワーク協会 (@MD-Net)

@MD-Net



● 医療機器業界の情報化促進をはかり、医療の効率化と近代化に貢献します。

約300社を会員企業とする当協会は医療機器業界におけるメーカー・ディーラー・医療機関間の流通の情報化促進をはかり、これらの活動を通じ日本の医療の効率化・近代化及び医療安全に貢献することを目的としている団体です。



当協会が運営する4つのサービスは下記となります。

- ① EDI (VAN・Web-EDI) サービス
- ② 生物由来製品譲渡報告書共同整理システム (MeBiTS)
- ③ 預託管理システム (@MD-Net 預託 EDI)
- ④ 施設コード検索サービス

医療機器業界 企業紹介

<掲載企業>



株式会社アグリス



アークレイ株式会社



アコマ医科工業株式会社



朝日インテック株式会社



アトムメディカル株式会社



大塚テクノ株式会社



オージー技研株式会社



オノエグループ
合同酒精株式会社



オフテクスホールディングス
株式会社



オムロンヘルスケア株式会社



株式会社コムラ製作所



サクラ精機株式会社



GE ヘルスケア・ジャパン
株式会社



株式会社ジェイ・エム・エス



シスメックス株式会社



株式会社セロテック



泉工医科工業株式会社



センチュリーメディカル株式会社



株式会社田中歯科器械店



テルモ株式会社



日機装株式会社



株式会社ニデック



日本光電工業株式会社



日本ストライカー株式会社



日本ベクトン・ディッキンソン
株式会社 (日本 BD)



フィルメック株式会社



フクダ電子株式会社



富士フイルム医療ソリューションズ株式会社



富士フイルムメディカル
株式会社



富士レビオ株式会社



株式会社八神製作所



山下医科器械株式会社



株式会社ヨシダ



株式会社リッツメディカル



リオン株式会社

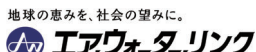
医療機器業界には様々な企業があります。そして、企業によって製造・販売しているものやサービス体系が異なります。
『医療機器業界企業紹介』コーナーでは、会社概要とトレンドについてお届けします！
ぜひ各社の取り組みや違いについて、見てみてください。



独立行政法人医薬品医療機器
総合機構



エア・ウォーター・メディカル
株式会社



エア・ウォーター・リンク
株式会社



株式会社エイアンドティー



株式会社エクセル・クリエイツ



株式会社カルディオ
インテリジェンス



株式会社カワニシ



キヤノンメディカル
システムズ株式会社



株式会社高研



興和株式会社



株式会社シード



シーメンスヘルスケア株式会社
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社



ジャパングス株式会社



ジョンソン・エンド・ジョンソン
株式会社 メディカルカンパニー



スミスメディカル・ジャパン
株式会社



株式会社テンクー



株式会社東機貿



TOSOH
東ソー株式会社



Toray Medical Co., Ltd.
東レ・メディカル株式会社



株式会社トプコン



日本ライフライン株式会社



浜松ホトニクス株式会社



パラマウントベッドグループ



株式会社日立ハイテク



ファイテン株式会社



マキチ株式会社



株式会社増田医科器械



株式会社メニコン



株式会社モリタ



株式会社モリタ製作所



株式会社レオクラン

本社所在地：〒834-0055 福岡県八女市鶴池 477 番地の 1

<会社概要>

アグリスという社名は「Agri=アグリ」(耕す、創造する)と「Rise=ライズ」(上昇、進歩、繁栄)を合わせた造語です。

新しい価値を創造し、社会の進歩、繁栄のお役に立ちたい、そんな私たちの想いが込められています。

常に「創意工夫」を図り、個々に「進取の精神」を高め、更に「日々向上」に務むという想いをベースに大きく 2 つの事業を行っています。

1. 医療機器 メディカル事業

- 処置キット (シーパックα、ES キット等)
- 外皮消毒剤 (1 回使い切りの単包容器に充填した衛生的かつ経済的な外皮消毒剤等)
- 透析用品 (人工透析に必要な鉗子・止血バンド・絆創膏等)
- 消毒処置用塗布スティック
- 抗菌炭炭温浴剤 (足浴剤)



2. 農業資材 アグリ事業

- いちご高設栽培用資材 (アグリス多段式高設栽培システム等)
- 接木用資材 (接木テープ、接木固定テープ、切口面保護フィルム等)
- いちご用資材 (培土、肥料、液肥等)
- 果樹用資材 (果実類採果鉢、収穫用袋等)



<トレンド>

【当社の未来について～核となる 2 つの事業～】

■メディカル事業

自社製品の透析キットは市場で約 55% のシェアを獲得。

■アグリ事業

いちごの高設栽培システムは全国 153 万ヘクタール、936 戸へ導入。

接木のテープは世界約 50 カ国以上へ出荷をしています。

核となる 2 つの事業を中心に直近 10 年間で 40 億円以上の成長をしています。

【トピック】

2022 年の 3 月期には当社念願の 100 億円の売り上げを達成。

2023 年の 5 月に新たに透析処置キットを製造する工場を竣工。

働く環境の改善、安全面の強化はもちろんのこと、従業員が休憩時間に少しでもリラックスできるように、休憩室をオシャレなカフェ風に作りました。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒602-0008 京都府京都市上京区岩栖院町 59 擁翠園内

<会社概要>

当社の事業フィールドは、40 年以上という長い開発の歴史を持つ「糖尿病検査分野」、臨床検査現場での正確性や迅速化を図る「尿検査分野」、クリニックなどの医療施設内で活躍する「POC 検査分野」、遺伝子型を判定することにより個人の病状・体質に適した薬剤の選択や投与量の推定を実現する「遺伝子分野」、患者さまが自宅で利用される「血糖自己測定分野」と幅広く、世界に先駆けた製品も数多く開発してきました。

また海外展開を強化しており、現在、海外の拠点数は生産拠点に加えシンガポールやインドの研究開発拠点など 13 カ国 23 拠点に達し、5 大陸 120 カ国以上で製品を販売しています。そして 2021 年には、営業拠点と生産拠点と欧州 6 カ国 (イギリス、アイルランド、イタリア、スペイン、ポルトガル、ベルギー) で新拠点を設立し現地での販売活動を開始しました。今後も海外拠点を拡大しグローバル展開を加速させ、いっそうワールドワイドなスケールで「新しい科学技術への挑戦を通じて世界中の人々の健康な生活に貢献する」というミッションを実現していきたいと考えています。どの職種においても「世界中の人々の健康な生活」に貢献するやりがいを感じることができるはずです。



<トレンド>

<糖尿病検査分野>

世界で初めて全自動ヘモグロビン A1c 測定装置を開発して以来、パイオニアとして臨床的意義の啓蒙活動を展開し、検査の普及を促進しています。従来の HPLC 法による測定から、新しい電気泳動法による測定など技術革新を進めながら糖尿病検査装置の充実を目指して開発しています。

<血糖自己測定分野>

糖尿病治療において、患者さまは血糖自己測定による日々の血糖コントロールを欠かすことができません。我々は試験紙を使う血糖自己測定器の小型化を世界で初めて実現しました。患者様の負担を少なくするために少量の血液で測定できる仕組みを توسعهさせ、不自由な方々にでも使いやすい操作を考慮したユーザーフレンドリーな商品開発を進めています。



arkray

もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目14番14号

＜会社概要＞

アコマ医科工業は全身麻酔器や人工呼吸器を中心に常に先進機能を搭載した製品を臨床医療の現場に送り出している会社です。1921年の創業以来、100年という歳月の中で日本の医療において不可欠な存在へと成長してきました。

当社が誕生した1921年は元号がまだ大正の頃。1927年にアコマ血圧計を販売開始し、「血圧計と言えばアコマ」とまで言われるほどの看板商品に。その結果、全国的な知名度とお客様からの信頼を得ることができました。現在の主力製品は、全身麻酔器と人工呼吸器。この2つに特化してビジネスを展開中で、確かな高品質によって、国内外から高い評価をいただいています。特に、全身麻酔器の国内シェアはトップクラス。海外の医療機器メーカーも国内市場に進出しているにも関わらず、当社の製品が選ばれ続けているのは、製品の品質に加え、100年間で積み上げた信頼と実績だと自負しています。

近年ではグローバル展開も活発で、世界各国へ当社の高品質な製品をお届けしており、海外の医療機関でも”ACOMA”品質が認められています。



＜トレンド＞

当社の主力製品のひとつ人工呼吸器は、新型コロナウイルス感染症によって、症状が重篤化し、自発呼吸が困難となった患者様にご使用いただいております。

コロナ禍によって、先進国、途上国を問わず、依然として世界的な医療需要の高止まりが続いている状態です。

コロナ禍におきまして、当社は人工呼吸器の増産によって日本国内における人工呼吸器不足の解消を図ると同時に、人工呼吸器の性能維持に必要な保守・管理等を重点的に実施し、コロナ禍における日本国内の安定的な医療体制の確保の一助を担わせていただきました。

また、アジアやアフリカ、中南米などの医療物資が不足する途上国に対しては、いまま当社医療機器の輸出を積極的に継続しております。

そのような取り組みもあって、中小企業の優れた技術や経営をたたえる「2021年度優良企業」（東京都信用金庫協会など主催）において、製造業部門最優秀賞となる「しんきんものづくり大賞」の受賞に至りました。

世界中の人々の命を繋ぐため、全社一丸となって、国内外の医療機関へ多くの医療機器を送り出すことに取り組んでおります。



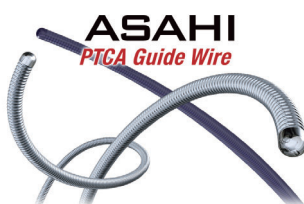
もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町3番地100

＜会社概要＞

朝日インテックは、創業以来さまざまな産業機器に使用されるワイヤーロープの製造から始まり、現在では医療機器分野へと広がっています。グローバルに販売体制を構築し、110を超える国と地域に製品を供給しています。当社の事業分野は大きく分けて、医療機器分野と産業機器分野の二分野です。創業から培ってきた技術で高機能・高品質な産業用機器の開発を行っています。また高度なニーズに最適化した部材や製品を世界の医療機器メーカーに供給しています。自社ブランドの医療機器においては、世界をリードする循環器系製品をはじめ、脳血管系、末梢血管系、腹部血管系などの血管内治療に使われるさまざまなデバイスも開発しています。さらに近年では消化器内視鏡治療に使われる製品も開発しています。今後も、独自技術力で、当社にしか作れない製品を作り、世界中のドクターの声に応えて低侵襲治療の新しい扉を開いていきます。



＜トレンド＞

最終顧客である医師からのニーズや評価をダイレクトに反映できる研究開発体制を構築しています。2018年に本社の新社屋を建設し、臨床現場に近い研究開発環境整備を実現しました。また、2022年2月、従来のガイドワイヤー・カテーテルを中心とした開発機能の強化に加え、スマート医療やロボティクスなどへとつながる医療分野の開発拠点として「東京 R&D センター」を設立しました。素材から立ち返って製品開発を行い、生産・販売まで全て自社一貫体制で行っています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！





<会社概要>

私たちは「小さな生命を救うために」をミッションに掲げ、より安心安全な出産ができる世界の実現を目指して、医療機器の開発・製造・販売を行っています。創業80年以上の老舗ですが、その歴史を基盤に新しいことに挑戦を続けています。

1952年に日本で初めて国産保育器を開発し、現在は国内保育器シェア85%以上を占めています。（※）また、保育器だけでなく、分娩用ベッドや婦人科で使用される検診台など、赤ちゃんとお母さんのための医療機器を数多く取り扱っています。

2023年7月には、本社新社屋が完成。社屋内にはNICU（新生児集中治療室）を模したショールームがあります。ショールームでは、医療機関の新人の方に対して実機を使った製品研修を行ったり、開業予定の医師の方に治療室のイメージを持ってもらったりすることが可能です。



※ 保育器とは低体重で産まれてきて発達が未熟な赤ちゃんが育成するために入る機器です。



<トレンド>

最近、お産に無痛分娩を選ぶ方が増えてきています。

無痛分娩の最大のメリットは、麻酔によってお産の痛みが軽くなることです。それに伴って産後の回復も早い傾向にあります。

お産の痛みは手指の切断に匹敵するとも言われています。その痛みに耐えながら産まなければならないと思うと不安は大きいですね。中には、一人目のお産の痛みが忘れられず、二人目をためらってしまうお母さんもいます。そこに無痛分娩という選択肢があれば、お産に対する不安を少しでも軽減できるかもしれません。

これを受けて当社は、「自分らしい出産をあなたに」という想いでPCAポンプの販売を始めました。PCAポンプを使用すると、痛いと感じた時に患者さん自身がボタンを押すことで麻酔が投与され、お産の痛みを安全に和らげることができます。

当社はこれらの製品を通じて、お母さんと赤ちゃんに寄り添い、新しい生命の誕生をサポートし続けています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



<会社概要>

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）は、2004年に独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づき設立された、医薬品・医療機器・再生医療等製品等の承認審査・安全対策・健康被害救済の3つの業務を行う日本で唯一の組織です。これら3つの業務を一貫して実施する仕組み（セーフティ・トライアングル）により、医薬品の副作用等に対する迅速な救済（健康被害救済）、医薬品・医療機器・再生医療等製品の治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査（承認審査）、市販後における安全性に関する情報収集・分析・提供（安全対策）を行うことで、医薬品・医療機器・再生医療等製品等の開発から実用化までを通じたライフサイクル全般を通して、国民の健康・安全の向上に貢献しています。



<トレンド>

近年、画像診断の精度を高める診断用プログラムや、慢性疾患の症状改善を目的として患者の行動変容を促す治療用アプリ等の医療機器の開発が盛んになってきています。これらの製品は、患者への侵襲がなくリスクが低い一方で、これまで医師や医療従事者の経験や技量に基づいていた診断や治療をソフトウェアを使用して提供できることから、新たなカテゴリーの医療機器（プログラム医療機器）として臨床現場での活用が期待されています。PMDAは2年前にプログラム医療機器審査室を新設し、このような製品の開発や承認申請に対応してきました。今年9月には厚生労働省と経済産業省から「プログラム医療機器実用化促進パッケージ戦略2」が発表され、PMDAのさらなる体制強化が期待されているところです。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山2丁目12番27号

<会社概要>

あなたはいま、呼吸をしていますか？

当たり前だ、とおっしゃると思います。

でもそれが、当たり前ではない方がいます。

私たちはそんな「当たり前」を守ってきた会社です。

■空気のように水のように

エア・ウォーターは酸素や窒素、二酸化炭素など医療ガスの国内トップメーカーです。当社はそのエア・ウォーターグループの中核会社で、主に医療機器を製造販売しています。当社は肺疾患をもつ患者さん向けの在宅酸素濃縮器メーカーがルーツですが、活動領域は広がり続けています。新生児の命を救う一酸化窒素ガス、人工呼吸器、在宅で点滴ができる輸液ポンプ、介護用シャワーなど、急性期医療から在宅、介護施設まで。社名のとおり、あらゆるところに私たちはいます。

■世界中に「よかった」を届け続ける

メーカーですが自社製造にとどまらず、現場のニーズをとらえ海外製機器等も積極的に輸入販売も行い、臨床や福祉の現場の方々の「こまった」を「よかった」に変えていきます。また農業・食品、化学、物流など医療以外の様々な事業も展開するエア・ウォーターグループの利を活かし、一医療機器メーカーだけではできない新しい「よかった」を生み出していきます。



<トレンド>

■新生エア・ウォーター・メディカル発足

1963年創業以降、酸素濃縮器をメイン事業としてきた当社ですが、23年7月、親会社のエア・ウォーターから医薬品を含む医療事業の一部を承継しました。これにより、社員は約2倍になり、取り扱い製品群も大きく広がりました。

また、エア・ウォーターの技術力や販売力を取り込むことで、医療機器の開発から製造、品質管理、販売そしてメンテナンスまでを全て自社内にもつ体制となりました。この大きな変化をチャンスにすべく、人も会社も変わっている最中の、「古いけれど新しい」会社です。

■「エア・ウォーター健都」開業

23年9月、北大阪健康医療都市に、エア・ウォーターグループのウェルネス開発を牽引する

新たな拠点「エア・ウォーター健都」が動き出しました！これは

ただの企業の施設ではなく、地

域の市民の皆さんと共に新しい

価値を創造していく“場”になります。

当社も新製品、新サービスの開発・実証などを通じ次の「よかった」を生み出すべく連

携していきます。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒612-8418 京都府京都市伏見区竹田向代町132番地1

<会社概要>

『東証プライム上場のエア・ウォーターのグループ会社』

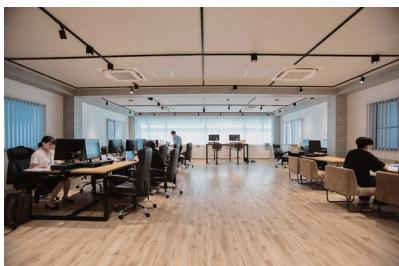
当社は、産業ガスをはじめ医療、ケミカル、農業・食品、物流、海水、エアゾールなど多彩な事業を展開するエア・ウォーターのグループ会社です。そのグループ会社の中で主要なポジションを担う医療機器総合商社です。

『医療現場のニーズにワンストップで対応』

総合病院を中心に、循環器・心臓外科を軸としてバルーンカテーテル・ステント、人工血管、人工弁、ペースメーカー、TAVI、ステントグラフトなど専門性の高い医療機器を販売する一方、エア・ウォーターグループのスケールメリットを活かして、大型医療機器の据付から手術室・ICU等の設計・施工までワンストップで対応できる数少ない会社です。

『医療機器メーカーと医療現場の架け橋』

医療機器総合商社として、主要メーカーと連携して最新の医療機器・医療技術の情報や医療現場のニーズをキャッチし、最適な医療機器や医療情報を迅速に医療現場へお届けすることを責務としており、医療機器メーカーと医療現場をつなぐ架け橋としての役割を担っております。医療従事者の方々をサポートし、医療機関を支えるチーム医療の一員として地域医療に貢献いたします。



<トレンド>

『国際くらしの医療館・神戸』

2019年、神戸医療産業都市に開館した、エア・ウォーターの施設「国際くらしの医療館・神戸」では産学官、医師、メーカーなどと連携して共同研究開発を行うなど、新たな事業を創出しています。

この施設の中には、実物の医療機器が設置された手術室・ICU・NICUがあり、実際の使用環境を体感しシミュレーションすることができます。手術室等の建替え、改修工事をご検討されている病院スタッフにお越しいただき、レイアウトや各医療機器の配置等をご提案しご検討いただくことができます。

こういったエア・ウォーターグループのメリットを最大限に活かして医療機器総合商社の枠を越えて全国からの需要も高まりつつあります。

『エア・ウォーター健都』の開業

2023年9月13日、エア・ウォーターは北大阪健康医療都市（健都）に、「ウェルネス（健康やかな暮らし）」に関わる新事業の創造、開発、発信拠点『エア・ウォーター健都』を開業しました。

『今後の展望』

現在は関西・北陸エリアを中心に事業を展開しておりますが、エア・ウォーターグループは全国に拠点を構えておりますので、グループ会社の一員として全国の地域医療に貢献することを目指しております。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町 2 番地 6 号 横浜プラザビル 12 階

<会社概要>

■臨床検査室を支える医療機器・システムメーカー

病院の検査室向けに、臨床検査機器や情報システムを提供している総合技術メーカーです。検査室全体をカバーする高機能・多機能な製品を一貫体制で展開しており、検査室の業務を総合的に支援することができます。検査情報の管理や結果の報告などを行う「臨床検査情報システム」においては、国内トップシェアクラスを誇り、リピート率は 80～90%です。また、海外向けに OEM 販売も行っており、「電解質ユニット」は世界約 5,000 か所で使用されています。

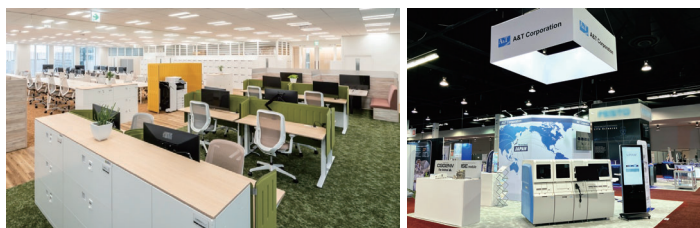
■一貫体制で幅広い製品を展開

エイアンドティーは臨床検査業務を支える 4 つの製品群（C・A・C・L）すべてにおいて、開発から製造、販売、カスタマーサポートまで一貫して行っています。幅広い製品を一貫体制で扱っているからこそ、お客様に寄り添った製品の開発や総合的なコンサルティングを可能としています。

【血液検査事業】C：臨床検査試薬、センサー

A：検体検査装置（電解質・グルコース・血液凝固）

【IT化・自動化支援事業】C：臨床検査情報システム / L：検体検査自動化システム



<トレンド>

■2023 年 横浜本社移転

2023 年 2 月に横浜本社が新たなオフィスに移転しました。テレワーク勤務やオンライン会議の増加に伴い、Web 会議用ブースを取り入れるなど、より快適なオフィスへと変わりました。座席はフリーアドレスになっており、様々な部署の人とのコミュニケーションが取りやすい環境になっています。

■創立 45 周年

エイアンドティーは 2023 年に創立 45 周年を迎えました。1978 年にベンチャー企業として創立以来、ずっと変わらず「臨床検査」を支える多くの製品を提供してきました。お客様に寄り添うことを大切に、今後も「医療を支え、世界の人々の健康に貢献する」という企業理念のもと、臨床検査を支え続けます。

■AACC2023 への出展

American Association for Clinical Chemistry (AACC) 2023 に出展しました。AACC は、世界で活躍する臨床検査機器メーカー約 970 社が集結するアメリカの大規模な展示会です。臨床検査に関わる様々な製品が展示されており、エイアンドティーは血液凝固分析装置、電解質分析装置のモジュール、検体検査自動化システムを展示しました。引き続き、弊社の製品をより多くの方に知っていただき、世界の医療に貢献していきます。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 1 丁目 16 番 13 号 堺筋ベストビル 5 階
(東京・名古屋にも拠点あり)

<会社概要>

エクセル・クリエイツは、医療機関向けソフトウェア（自社パッケージ）の製造・販売・導入・保守をワンストップで行っている会社です。

当社の製品は、放射線科にある MRI や CT など撮影した画像データや、臨床検査室にある生化学・血液などの検査データ、健診センターにある人間ドックなどの健診データを一元管理できる統合型のデータ管理システムです。

2004 年の創業以来、独立系ソフトウェア会社として日本全国 1550 施設以上の医療機関に製品・サービスを提供してきました。

現在は今まで培ってきたノウハウを元に、海外展開（特に東南アジア）も推進しております。当社が提供するソフトウェアが医療機関の先生方やスタッフの方々のお役に立つと同時に、その先にいる患者や受診者の方々へのサービスに繋がるよう期待しております。また、IT 業界は技術革新がはやい業界です。当社も技術力向上を常に意識しており、医療における AI 技術にも取り組んでいます。

医療現場における IT 活用に興味・意欲のある方はぜひ一緒に取り組みましょう。

【製品】統合型データ管理システム FORZ（画像ファインディングシステム、放射線情報システム（簡易）、レポートシステム、臨床検査システム、健診システム）



<トレンド>

エクセル・クリエイツでは医療用 AI の活用・普及に力を入れております。

予防・診断・治療領域の AI 活用を推進しており、現在は、死後画像の頭部を対象にして出血と骨折の検出に取り組んでいます。

司法解剖では死因究明のために解剖前に遺体の画像を撮影することがあります。死後画像では体内の様子がわかるので、通常とは異なる部分（異常部位）を見つけることでよりの確な解剖を行う手助けになったり、死因特定の手掛かりになったりします。

しかし、画像は場合によっては数千枚にも及ぶため、解剖前の限られた時間で精査することは困難です。

また、死後画像は生前画像とは異なるところも多いため、適切に読み取ることのできる医師は限られています。そのため、AI 技術を用いて異常部位を検出することによって、死後画像から解剖や死因究明に役立つ情報を取り出したいと考えております。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！





本社所在地：〒771-0360 徳島県鳴門市瀬戸町明神字板屋島 120 番 1

<会社概要>

トータルヘルスケアカンパニーである「大塚グループ」の一員として当社は 1985 年に創業いたしました。プラスチック（合成樹脂）成形品の製造・販売を行うメーカーです。

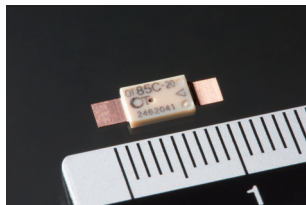
【主な展開製品】

- ・医療分野（輸液用キャップ・バッグフィルム等の点滴関連部材等）
- ・精密電子分野（リチウムイオン電池の発火防止安全装置等）

他にも、汎用プラスチックだけでなく、スーパーエンジニアリングプラスチックを用いた幅広い製品を展開。リチウムイオン電池の発火防止安全装置は、国内では業界トップクラスの実績を誇っており、経済産業省認定の「グローバルニッチトップ企業 100 選」にも選定されました。

【医療機器分野への新たな試み】

創業当時から培ってきた医療分野の経験を活かして、2022 年「間欠泌尿器用カテーテル」を発売。自然排尿が困難な方の自己導尿の際に使用いただく、再利用可能な医療機器です。超高齢社会を迎えた日本の介護領域においては近年、排泄自立の重要性が認識されており、排泄ケアのニーズが高まっています。今後も社会のニーズを見出し、ものづくりを通して社会に貢献できるよう、新たな製品の研究・開発に日々チャレンジを続けております。



<トレンド>

【環境に配慮した製品の開発】

環境に配慮したモノづくりの一環として樹脂バッグ式微細藻類培養装置「OT-Algae」を 2023 年 4 月に新発売。微細藻類はサプリメントや食品、化粧品、繊維、飼料、医薬品、ジェット燃料等の資源として期待されると同時に、その培養による副次的効果である CO₂ 吸収や水質浄化にも注目が集まっています。このような背景の下、当社が保有する輸液バッグ用フィルムの製造技術を活用し、他社様との共同研究を経て当製品を開発いたしました。



【創業 40 周年に向けて】

「今、社会に求められていることは何か？」そんな課題に対してものづくりを通じて追求していける環境が、大塚テクノにはあります。

大塚グループは 2021 年に創業 100 周年を迎え、当社は 2025 年に創業 40 周年を迎えます。

『我が社は世界的視野に立ち、顧客満足の為に新しい価値を創造し、広く社会に貢献します。』当社の経営理念のもと、今後も会社・人材ともに持続的な成長を歩み続けられるよう、人材育成プログラムを策定しております。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒703-8261 岡山県岡山市中区海吉 1835 番 7 号

<会社概要>

社 名：オージー技研株式会社
創 業：1949 年
資本金：1 億円
代表者：代表取締役社長 奥田 宏
従業員：357 人 (2023 年 7 月 1 日時点)
事業内容：医療機器、福祉機器及び健康機器の製造、販売及び輸出入業務



私たちは、1950 年に製品第 1 号である「低周波治療器」を開発して以来、医療・介護現場（身体機能のリハビリ分野）のニーズにあった製品づくり、研究開発に力を入れてまいりました。

「お客様の声を『製品』として世のなかに送り出す。」

この使命のもとに、研究開発だけでなく、製造・販売・メンテナンスまで一貫して行う事業体を展開しています。

2015 年からは「生涯現役、ウェルネス社会の実現にリハビリ機器メーカーとして貢献する」を掲げ、「OG Wellness」ブランドの展開を開始しました。

お客様に安心してお使いいただくことだけでなく、ウェルネスに寄り添う製品づくりを行っています。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



<トレンド>

■物理療法とリハビリテーションの融合

「物理療法」によりコンディションを整えて、「リハビリテーション」を行うことは、相乗効果を生むと言われています。

当社では、コンディショニング：低周波治療器「電気刺激装置アイビス」、トレーニング：歩行支援装置「歩行アシスト Physibo Walk」・有酸素運動マシン「BE-Well」など、最新の機器を組み合わせるご提案を行っています。



■衛生面に配慮した介護機器の開発

COVID-19 の流行を経て、製品の衛生面にもさらに力を入れています。

お湯を溜めないシャワー浴槽「セレーノ」は、感染症対策に配慮して開発されました。

また、SIAA を取得した抗菌仕様や薬液での殺菌・洗浄が行える素材を使用し、清掃が行いやすい設計にするなど工夫をしています。利用者が快適に使用でき、かつ介助者の負担を軽減する製品開発を行っています。

OG Wellness は、今後も皆さまが安心・安全にお使いいただける製品開発を行い、世界中に元気と笑顔をお届けしてまいります。



File13 オエノングループ 合同酒精株式会社

オエノングループ
合同酒精株式会社

メーカー

本社所在地：〒271-0064 千葉県松戸市上本郷字仲原 250

<会社概要>

オエノングループは 1924 年に北海道で設立された合同酒精を母体とする総合酒類メーカーです。「自然の恵みを活かし、バイオ技術をベースに、人々に食の楽しさと健やかな暮らしを提供します。」を企業理念に、長年に渡り、酒類製造で培ったバイオテクノロジーを基盤とした商品・サービスを世に送り出しています。

現在、持株会社体制の下、グループ各社の機能分担により、酒類の製造販売を手掛ける「酒類事業」、酵素・診断薬・発酵受託ビジネスを手掛ける「酵素医薬品事業」、「不動産事業」などを展開しています。

酵素医薬品事業の主力商品である乳糖分解酵素ラクターゼは、牛乳を飲むとおなかでゴロゴロしてしまう乳糖不耐を改善する目的という本来の機能に加え、乳糖が分解されることで甘みが向上する効果があるため、砂糖不使用でも甘みを感じることができます。その他に、酒類事業で培った発酵技術と免疫反応を利用した技術を活かし、さまざまな微生物の発酵・精製や培養の受託サービスや診断薬事業を展開しています。

研究および営業拠点は千葉県松戸市にあり、製造工場は青森県八戸市にあります。当社の企業理念に共感頂ける方と、一緒に働きたいと思えます。



酵素医薬品工場（青森県八戸市）

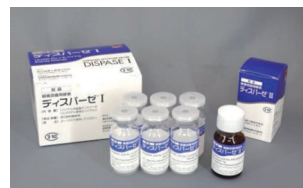
<トレンド>

近年、「予防医学」や「健康寿命」といった考えが広がっており、これらを実践・高めるため、自分の「健康」をより意識して生活することが求められます。

例えば、アスリート向けを中心とした「高タンパク」商品は、今では一般消費者向けとして目にする機会が増えました。特に乳と併せて摂取することが効果的です。「乳糖不耐」が理由で、乳の摂取ができなかった方への改善目的として、乳糖分解酵素「GODO-YNL」の活用があります。現在では乳糖を含まない乳製品 × 高タンパクが世界のトレンドとして、一般向けから介護、高齢食の分野まで、大きな広がりを見せています。日本人は 9 割以上が「乳糖不耐」と言われていますので、今後の国内での広がりが期待されます。

また、細胞分散用酵素「ディスパーゼ」は、アニマルフリーといった特長から研究用に留まらず、既に多くの再生医療用医薬品で使用されています。

さらに、日本が世界をリードする便潜血検査試薬を用いた大腸がんのスクリーニング検査は、患者負担の少ない検査として国外より注目を集め、現在は、普及に向け各国で活発に議論されています。当社は、1991 年より製造販売を行っており、多くの方の健康に寄り添う企業として歩み続けています。



細胞分散酵素 ディスパーゼ

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File14 オフテクスグループ

Ophtecs

メーカー

本社所在地：〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 5 丁目 2 番 4 号

<会社概要>

【事業内容】

オフテクスはコンタクトレンズケア用品・点眼薬の研究開発型メーカーです。社員 200 名強の中小企業ですが、当社製品は他社に負けない独創性と品質の高さを誇ります。世界の眼科医療に貢献すべくグローバルアイケアカンパニーを目指す私たちの仕事は、高品質なコンタクトレンズケア用品や点眼薬を世に届けること。製品の研究開発・製造・販売を一貫して国内で行っており、国内にとどまらず、アジアやヨーロッパのユーザーへも製品を届けます。

【当社の強み】

コンタクトレンズケアの「クリアデュ」を筆頭に、瞳への安全性を第一とし真に有効な成分と品質を追及した製品は、一度使って以来ファンになった!と嬉しいお声を頂くこともめずらしくありません。

世界初のポビドンヨードを用いたケア用品を製品化したことも一例で、その後特許を有し業界内での差別化にも成功しました。製品は眼科医からも高く評価され現在、眼科・コンタクトレンズ専門店の販売ルートにおいてシェア No.1 を誇ります。



<トレンド>

【グローバルアイケアカンパニーとしての使命】

2021 年にブランドアップデートを行ったクリアデュは、高品質で高付加価値なブランドとなっており、関連学会や眼科医からも注目されています。さらに、女優の芦田愛菜さんを起用した広告により、最近ではユーザー様から「愛菜ちゃんのケア用品」と言われることも。オフテクスは今後もグローバルアイケアカンパニーとして、大切な瞳の健康を第一に考え、コンタクトケア用品だけではなく点眼剤など瞳に関する様々な製品を開発し世に送り出していきます!



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地

<会社概要>

「地球上の一人ひとりの健康で豊かな生活への貢献」をミッションとし、家庭や医療現場で使用される革新的な機器やサービスを提供しています。当社はグローバルに健康課題が深刻化している循環器疾患・呼吸器疾患・慢性痛疾患の3つの疾病領域にフォーカスしています。病気に「ならない」「重症化させない」「再発させない」を実現するため、医学界や専門家とグローバルに連携し、医療の進化に貢献しています。循環器事業では、1973年に血圧計一号機を発売し、医学界と連携し「家庭で血圧を測定する」文化を創造してきました。現在では世界130ヶ国以上でオムロンの血圧計が血圧治療に役立てられており、年間では2000万台以上が世界中で販売されています。ヘルスケアを取りまく環境はIT技術の進化やAIの導入、ビッグデータの活用など進化しています。当社はこれらの事業環境の変化をチャンスととらえてプロアクティブに挑戦することで、健康医療デバイスやサービスの提供を通じてフォーカスする疾病領域でのよりよい疾病管理・治療に貢献していきます。私たちとともに世界中の人々の健康課題を解決し、健康寿命の延伸にチャレンジしていきましょう。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら!



<トレンド>

私たちは、2030年のありたい姿に向けた長期ビジョンとして「Going for ZERO- 予防医療で世界を健康に -」を掲げています。病気にならないための1次予防、病気を重症化させない2次予防、再発させないための3次予防。この3つのステージにおける予防医療を革新的なデバイスとサービスでグローバルに展開します。

■心疾患領域への参入

循環器疾患事業では、脳卒中や心不全の発症ゼロ（ゼロイベント）の実現を目指しています。脳卒中の原因のひとつが危険な不整脈「心房細動」です。グローバルに伸展する高齢化を背景に、顕在化している心房細動患者数は2030年に100万人を超えと言われています。そこで、当社は日常生活のなかで手軽に心電図を記録できる心電計付き上腕式血圧計を米国のスタートアップとともに開発しグローバルに提供しています。家庭での心電図記録を普及させて心房細動の早期発見と早期治療という新しい価値を提供します。

■遠隔診療サービス

家庭で測定したバイタルデータを医師と患者が共有し、慢性疾患の診療に活用できる遠隔患者モニタリング事業にチャレンジしています。心疾患が死因の第一位を占める米国で2020年からスタートしました。家庭と医療現場とのデータ連携により、患者の状態変化に合わせたタイムリーで的確な医療介入を実現します。革新が進むヘルスケア分野で私たちと志をともにし、新たな価値創造でよりよい医療の実現に向けて活躍する仲間を求めています。



本社所在地：〒106-0044 東京都港区東麻布一丁目25番5号 VORT 麻布イースト2階



<会社概要>

株式会社カルディオオインテリジェンスは、AIを活用した世界初の心電図解析ソフトウェアを開発・販売する、心臓専門医が立ち上げたヘルステックベンチャーです。“心臓病診療を受けられない患者さんを世界からなくす”のミッションのもと、専門的な心電図解析をAIが支援することで、長時間心電図検査にかかる医療従事者の業務負担軽減や、脳梗塞予防に重要な心房細動の早期発見に貢献したいと考えております。創業4年目の若い会社ですが、医療に精通したスタッフから医療業界未経験のスタッフまで、それぞれの専門スキルや知識を活かして日々業務に取り組んでいます。

長時間心電図解析ソフトウェア

SmartRobin AI シリーズ



販売名：長時間心電図解析ソフトウェア SmartRobin AI シリーズ、一般名称：ホルタ解析装置用プログラム、医療機器認証番号：302AHBZX00026Z00（管理医療機器）

<トレンド>

【全国60施設に導入済み!医療現場をDXするソフトウェア医療機器】

2022年4月、弊社主力製品である『長時間心電図解析ソフトウェア SmartRobin AI シリーズ』の販売を開始いたしました。

不整脈診断に欠かせない長時間心電図検査は、膨大な量の心電図データを解析する作業が必要になるため、医療従事者の負担が大きいとされています。その負担をAIの力で自動化することで不整脈診断をサポートする機器『長時間心電図解析ソフトウェア SmartRobin AI シリーズ』は、すでに全国60を超える施設に導入され、医療現場のDXに貢献し、ますます拡大をしていく予定です。

【ベンチャーならではの!?充実した社内研修と多くの成長機会】

在籍する社員は元々医療機関で働いていた者や医療業界で営業を経験してきた者、開発エンジニア、バックオフィス業務に従事してきた者まで、バラエティー豊かです。各自の専門スキルを活かして社内勉強会を実施したり、外部講師を招いて講義をしていただくこともあります。また、これまでの経験だけに留まらず、新規事業の立ち上げをしたり、新たな業務に挑戦したりと、ステップアップできる環境があります。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら!



File17 株式会社カワニシ



商社

本社所在地：〒700-8528 岡山県岡山市北区今1丁目4番31号

<会社概要>

《現場ニーズに真摯に向き合い、共に進化する。》

株式会社カワニシは、医療機器の専門商社として中四国の医療現場を支えています。病院や研究施設など多岐に渡る医療現場へ、お客様のご希望に合わせたサービスを提供します。弊社営業部は2つに分かれており、担当施設に総合的なサービスを提供する“施設営業部”、特定の診療科に特化して最適なものをお届けする“専門営業部”があり、それぞれ得意分野を生かしながら、必要とあらばチームの垣根を越えて協力しています。



<トレンド>

《オリジナル商品のご提案》

我々は商社でありながらも、弊社オリジナルの商品を提案しております。基本的にはお客様に対して継続的に提案活動をしておりますので、現場でのお困りごとやニーズを耳にすることが良くあります。そういった貴重な声を聞き逃すことなく、今まで行ったことのないようなことでも挑戦をし続けることで、医療機関の総合窓口であるファーストコールカンパニーを目指しています。

他社にも協力をいただきながら、医療機関様向けの Wi-Fi SPOT や、クラウドカメラなど、医療 ICT を用いて現場の課題に対応しております。

医療技術や求められるニーズは目まぐるしい速度で進歩しています。私たちはその変化に対応し、顧客の皆様と同じ目線で医療現場に向き合い、サービス・商品・情報すべてにおいて、最適・最新のソリューションを提供致します。医療の発展に貢献すべく、多角的な提案を行ってまいります。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File18 キヤノンメディカルシステムズ株式会社

Canon
CANON MEDICAL

メーカー

本社所在地：〒324-8550 栃木県大田原市下石上 1385 番地

<会社概要>

キヤノンメディカルシステムズは、『キヤノングループ』の成長領域であるメディカル事業の軸を担う医療機器メーカーです。日本の医療用画像診断装置の黎明期に創業した当社は、目覚ましい進歩を遂げてきた医療業界のお客さまとの連携により、新たな臨床価値を創造し提供することで発展してまいりました。その結果、多くの技術・製品を開発し、現在画像診断装置の主要モダリティにおいては国内トップシェア※、世界 150 以上の国と地域に製品・サービスを展開しています。

当社では、「健康と尊い命を守る医療に貢献する」「高品質で信頼性のある『商品』と適切な『サービス』を提供する」「お客さまと共に歩み・成長していく企業をめざす」という三つの経営理念に基づいた事業活動を展開しており、これらの理念を象徴するスローガンとして『Made for Life』を掲げ、幅広いソリューションを提供しています。これからも常にお客さまや患者さんの立場に寄り添い、最適なソリューションを提供し続けることによって世界の医療に貢献していきます。

※自社調べ

<トレンド>

《AI テクノロジーを活用した、新しい医療価値の創出》

当社は、AI を活用して CT や MRI の画像をより鮮明にする技術を開発しました。これは、ディープラーニングを用いてノイズの少ない高分解能（高画質）な画像を開発段階で AI に学習させ、入力画像と比較させてノイズ成分を見つけ出し、除去する技術です。2018 年、この技術を搭載した CT の販売を開始し、相反する低被ばくと高画質を実現しました。続いて、MRI への搭載にも成功し、ノイズの少ない高画質な画像をより短時間で撮影できるよう支援しています。「患者さんに負担をかけずにより鮮明な画像を得る」。この命題解決に向け、当社の画像診断装置は日々進化を続けています。

また、ヘルスケア IT 領域においては、画像診断システムで得られた診断画像をはじめとした膨大な医療情報を統合し、より効率的に情報を利活用できる医療情報システムの構築を進めています。最近では AI を活用した画像診断ワークフローの改善を目的としたシステムの製品化や診療支援システムも開発しています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒112-0004 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 14 号

＜会社概要＞

「医療・福祉・美容」の分野で社会貢献しているメーカーです

【医療機器事業】

気管カニューレ、呼吸器関連、耳鼻咽喉科関連、外科・形成外科関連医療機器の研究開発・製造販売

【教育用医療モデル事業】

救急教育用モデル、看護・助産・保健教育用モデル、医学教育用モデルの研究開発・製造販売

【化粧品原料および試薬事業】

■動物・魚由来のコラーゲン各種、植物抽出液各種、凍結乾燥コラーゲンシートの研究開発・製造販売

■組織・細胞培養用コラーゲン、研究用試薬、核酸関連試薬、医療用コラーゲンの研究開発・製造販売

■凍結乾燥の受託加工



＜トレンド＞

私たち株式会社高研は、医療機器をはじめ、教育用医療モデル、化粧品原料及び研究用試薬まで、人々のいのちと美しい生き方を支えるための事業をおこなっています。

“オリジナリティを大切にし、人々の幸福につながるものを提供する”という創業者の精神を受け継ぎながら、経営理念として「コンプライアンス」と「イノベーション」を掲げています。今後も医療、健康、また福祉等その関連分野において、“高研ならではの”の製品、サービス及びテクノロジーを提供し、人々の QOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上に貢献していきます。

受け継がれてきたものを大切にすると同時に、人々のニーズに沿いそれを叶える新しい価値を生み出し、よりグローバルな事業展開を目指し果敢に挑戦していきます。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒460-8625 愛知県名古屋市中区錦 3 丁目 6 番 29 号

＜会社概要＞

興和グループは常に時代の変化をとらえチャレンジする進取の精神と、堅実なモノづくりの精神を両輪として、「健康と環境」をテーマに様々な事業活動を展開し、これまでの常識にとらわれない新たな価値創造に努めています。

創業以来の繊維事業はもちろん、医療機器だけでなく、光学製品や医薬品・食品の研究開発から製造販売に至るまで、興和の活動領域は多岐にわたります。その活動は日本に留まることなく、欧米・アジアの拠点を中心に、世界中へ広がっています。

医療機器部門では、眼科向けの検査機器や白内障治療用眼内レンズ(IOL)の研究開発と製造を行っています。検査機器部門では光学、機械、ソフト、電子の専門性を、IOL 部門では材料工学、物性評価、光学設計などの専門性を備えたメンバーが活躍しています。さらに抗原検査キットなどの体外診断用医薬品についても研究開発を行っています。

＜トレンド＞

眼科向け医療機器として、光学技術や画像処理技術を応用した眼の検査機器の研究開発、製造を行っています。眼は「疾病の窓」と言われている通り、外部から光を受け取る構造を利用し光学技術を駆使することで直接眼の疾患部位を観察するなど様々な検査が可能です。当社は、前眼部を観察する手持ちスリットランプ、眼の炎症を定量化するレーザーフレアメーター、見える範囲と感度を計測する視野計などの眼科向け医療機器を製品化しています。

また、白内障治療用眼内レンズ(IOL)は、白内障で濁った水晶体の代わりに手術で眼の中に挿入する人工レンズで、単焦点レンズ、乱視用レンズ、多焦点レンズなど患者様の視環境を考慮した IOL を製品化しています。当社は、見え方の質(Quality of Vision)にこだわり、日中はもちろんのこと、夕方や夜間においても見やすさを重視した製品づくりを目指しています。

当社は、眼の病気に対する検査や治療ができる医療機器を開発・提供し、患者様の生活の質(Quality of Life)を向上させることにより、健康に過ごせる社会に貢献します。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒581-0035 大阪府八尾市西弓削3丁目9番地

＜会社概要＞

コムラ製作所の作っている製品は多種多様で、医療・介護・リハビリ・農業・学校・工場等、様々な場面で使われています。

当社では、「こんな動きの製品は出来ないか?」といったお客様のご要望に対して、設計・開発から始まり試作・試験を経て量産化（部品加工～完成品組立～納品）まで一貫したモノづくりをおこなっております。

1963年、ご縁から製図台の製作を手掛けたことにより、昇降・スライド・角度調節・バランス（止めたい位置で止める）といった機構ノウハウを構築し、それから半世紀にわたりその技術を磨き上げて参りました。弊社独自の摺動機構は医療・介護・リハビリ等様々な分野の製品に応用できるため、数多くのお客様の ODM・OEM 案件を手掛けさせて頂いております。

また、自社商品の電動昇降座椅子「独立宣言」シリーズは、発売から30年経った今でも多くの高齢者・障がい者の方にご利用頂いております。この超高齢化社会に対して、より安心・安全な商品を提供できるように、今後も製品開発を進めて参ります。

現在の社員数は92名で年齢構成としては20代以下が最多で34%、30代まで入れると51%になり、若年層も活躍している会社です。



＜トレンド＞

三代目社長の下「コミュニケーションをしっかりとって、前向きにチャレンジする」を合言葉に新たな船出を始めています。会社全体としても世代交代となる部署が多く、会社全体で若返りが図られています。

ここ数年は毎年自社新製品を発表するなど、新製品開発に力を入れています。

新製品開発には、入社歴の浅い20代の若手にも携わってもらい進めます。活躍次第では、早い段階で、自分の担当する新製品開発ができるチャンスがあります。

また、社内設備の更新も進めており、生産管理システム、製造加工設備、空調・照明設備、環境試験設備をはじめ、食堂のリニューアルや北工場の建て替えも計画するなど、社員が働きやすい社内環境の整備を急ピッチで行っています。

今年は、会社が創業60周年を迎え、社員が一堂に会してお祝いをしました。アフターコロナに入り、新たなチャレンジを積極的に行っていける希望に満ちています。

我々はこれからも、経営理念に掲げている、豊かさ実現にむけて、笑顔を生む仕事を続けてまいります。

共に成長し、会社の将来を担っていく仲間をお待ちしています。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒387-0015 長野県千曲市大字鋳物師屋75番地の5

＜会社概要＞

弊社は、医療業界の【洗浄・滅菌】とがん診断に欠かす事の出来ない【病理・細胞診・免疫】分野においてトップシェアの実績を誇り、日本国内はもとより世界中で非常に高い評価を頂いております。研究開発・製造・販売・ユーザー教育・サービスメンテナンスまでを一貫体制でおこない、医療産業界のフロントランナーとして常に時代を先駆ける技術と製品を提供しています。

【洗浄・滅菌】の分野では、医療機関から、クリーンな環境が求められる製薬・食品分野まで、最先端の総合技術力により高度で多様なニーズに対応する洗浄・滅菌機器を提供しています。

【病理・細胞診・免疫】の分野では、最新の技術・研究テーマへの取り組みから顧客の満足に応え、病理細胞診分野の技術革新に即した高信頼機器が創り出されています。



＜トレンド＞

■第二の研究開発拠点を長崎に開設

2020年10月に、長崎研究開発センターを開設しました。長野本社のある長野県千曲市以外では初の開発拠点となります。

発端は長崎県の特約店様から現地の産業振興財団に当社を紹介していただいたことから始まりました。長崎県は造船業を産業基盤としておりますが、その衰退により優秀な技術者の流出や産業規模の縮小という問題を抱え、企業誘致を積極的に進めおり、長野県内での開発人員の確保に苦戦する当社とニーズ、シーズが合致したのです。

■創業150周年

明治4年(1871年)、日本の医療機器産業の草分け的存在として創業以来150年の節目を迎えました。「200年企業を目指す」ことを次の目標に掲げ、今後とも世界規模で患者様、医療施設様、医療産業界に貢献する企業として在りたいと希っています。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒191-8503 東京都日野市旭が丘4丁目7番地の127

<会社概要>

GE ヘルスケアは、MRI、CT、超音波など画像診断の分野では100年を超える実績と共にグローバルリーダーとして、約160ヶ国で10億を超える患者さんをサポートしています。2023年初にはGEグループから独立し、新たに上場企業としてスタートしました。

GE ヘルスケア・ジャパンは、GE ヘルスケアの中核拠点として1982年より設立、日本のお客様および患者さんが求める医療の提供に尽力しています。予防から診断、治療、経過観察・予後管理までケアパスウェイの全てをカバーする「プレジジョン・ケア」の実現を目指し、インテリジェント機器やデータ分析、ソフトウェア、サービス等を提供しています。国内に研究・開発、製造から販売、サービス部門を持ち、グローバル発のイノベーションの実装を国内で進めることに加え、日本発のイニシアティブも日野工場を中心に増加の一途にあります。

日野工場は、第4次産業革命をリードする日本初の工場として2020年に世界経済フォーラム（WEF）によって「Lighthouse：灯台」に認定され、Lean/カイゼンを基にしたブリリアントファクトリー構想、サプライチェーンの課題解決に向けた戦略的アライアンスなど、開発・製造において日本発の新たなモデル構築で知られています。

<トレンド>

GE ヘルスケア・ジャパンでは、日本のお客様のニーズを取り入れて開発された Revolution CT、お客様が必要とされるサービスをリアルタイムで提供するのみならず、ライフサイクルマネジメントにおける革新を促すデジタル・プラットフォーム OriGEN、高齢化によって重要性が増す地域の医療連携を促進させる産官学の医療連携をリードするなど、日本の医療の課題解決に貢献する様々な取り組みを続けています。

弊社の最新ニュースはこちらをご覧ください。

<https://www.gehealthcare.co.jp/event-and-news/news-and-initiatives>



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒730-8652 広島県広島市中区加古町12番17号

<会社概要>

医師である土谷太郎は、当時起こっていた輸血時の発熱などの副作用を防止するため研究を進めていました。そのなかで、日本ではガラスやゴム製の医療機器を消毒して繰り返し使用していたのに対し、アメリカでは既にプラスチック製医療機器のディスポーザブル化が進み、副作用が少ないことに注目しました。

土谷は、質の高い医療を提供したいと願っている医療従事者にディスポーザブル医療機器を届けるために、JMS（設立時：日本メディカル・サプライ）を設立しました。この創業者の想いは「かけがえのない生命のために」という創業精神になり、今も社員一人ひとりの心に受け継がれています。

現在では、総合医療機器メーカーとして、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域という4つの領域で医療従事者や患者様に寄り添った医療機器を提供しています。

そして、医療現場の抱える課題に応えるために、JMSには新製品をつくる研究開発職や高品質な製品を量産化する技術開発職、医療現場に最適な製品を提案する営業職、会社の仕組みを考える企画職という職種があります。創業者の想いを大切にし、医療現場をよりよくするために活動しています。



<トレンド>

■新たな価値創出のための戦略■

ジェイ・エム・エスでは、自社の中だけで技術やノウハウを培っていくだけではなく、医療技術の進歩やニーズの多様化にいち早く応えていくために、他社やパートナー企業と連携をして「共創」することで、シナジーを高めていくことを大切にしています。

例えば、本年度より同業である大研医器株式会社と業務提携しました。それぞれの製品を組み合わせ、協業を行うことで、在宅でも抗がん剤治療が安心・安全に受けられるような製品の提供を目指します。さらには、輸血時に使用される血液バッグを広く海外展開していくために、ジェイ・エム・エスの連結子会社が中国の関連企業を買収しました。これにより、事業規模を拡大し、より安全な輸血が多くの国で行えるよう、製品の開発・改良を進めていく予定です。

このような取り組みを今後も進めていくことで、国内外問わず、よりよい医療現場の実現に貢献していきます。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号

<会社概要>

検査の中で最も一般的である血液検査や尿検査をはじめとする検体検査分野で事業を展開、国内トップシェア。世界 190 カ国以上に製品とソリューションを提供し、ヘマトロジー、血液凝固、尿沈渣検査分野ではグローバルでトップシェアを獲得しています。医療の発展や人々の健康に貢献する事がシスメックスの使命と考え、一人ひとりに最適な医療を実現する為に、独創的で新しい価値の高い検査・診断技術の創出に取り組んでいます。

また、既存の体外診断（IVD）領域の拡充を図るとともに、個人毎の特性に応じた個別化医療の推進と、より患者様の近くで検査を提供するプライマリケアの推進に取り組み、世界中の人々へ安心を提供しています。

グループ企業理念「Sysmex Way」に基づき、「ヘルスケアの進化をデザインする」ことをミッションに、情熱としなやかさをもって最高のチームワークを発揮した結果、2021年版「Global 100」（世界で最も持続可能な100社）や令和2年度「新・ダイバーシティ経営企業100選」などにも選出されました。



Together for a better
healthcare journey

<トレンド>

■2033年を最終年度とする新たな長期経営戦略を策定

グループの成長持続とそれを支える経営基盤の強化に向け、10年後の2033年度を最終年度とする新たな長期経営戦略を発表。「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。」という長期ビジョンを定め、一人ひとりの生涯にわたるヘルスケアの旅路がより良いものになるよう、検体検査領域におけるイノベーションの創出に加え、未病・予防や治療領域へのチャレンジにより、新たな価値を提供し、2033年度に売上高1兆円規模の企業になることを目指します。

■ジョブ型人材マネジメントシステムの導入

2021年10月よりシスメックス株式会社が在籍の一般社員層へジョブ型の人事制度を導入しました。本人のキャリア志向、価値観、ライフイベントによって職務を選択できる仕組みを整備することで、エンゲージメントを高め、多様性を理解し合える風土形成を促進していきます。

■「Sysmex Smart Work」の導入

シスメックスでは新たな勤務制度の運用を2021年6月より開始しました。自宅以外の場所でもテレワークできる環境整備のほか、業務内容や生活スタイルに合わせフレックスタイムや中抜けなどを組み合わせてワークライフバランスを実現できる時間活用を推進します。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒113-8402 東京都文京区本郷2丁目40番2号

<会社概要>

シードは、日本初の使い捨てコンタクトレンズ発売という実績をはじめ、使命でもあるより多くのお客さまの「見える」をサポートするために、ハードコンタクトレンズ、使い捨てコンタクトレンズ、乱視用、遠近両用、サークルレンズ、動物用コンタクトレンズ等、幅広い製品を展開しています。また、虹彩欠損症患者さま向けの虹彩付きソフトコンタクトレンズをはじめ、ニッチなニーズにもきめ細かに対応できる製品も用意しています。さらに、一人ひとりの視力に対応するため、Pureシリーズでは国内最大幅の度数ラインアップを実現。多くの企業はポリウムゾーンのみの度数展開ですが、シードはそれ以外の度数もカバーしており、一人ひとりの眼に寄り添った製品を高精度な全品検査体制によって徹底した品質管理をしながら提供しています。

また、英国、ドイツ、スイス等のグループ会社と協働しながら、スマートコンタクトレンズや、オルソケラトロジーレンズをはじめとした医療用コンタクトレンズ、内視鏡フード等のコンタクトレンズの技術に応用した他分野の医療機器・ソリューションの実用化に向けて挑戦が続いています。



<トレンド>

【オルソケラトロジーレンズ】

グループを挙げてオルソケラトロジーレンズ「プレスオーコレクト」の商品競争力を高め、国内外の販売体制を飛躍的に強化していくことを目指しています。オルソケラトロジーレンズとは、近視および近視性乱視の方が就寝時にレンズを装着することで、角膜形状を変化させ矯正された状態を一定時間維持し、日中に裸眼で過ごすことが可能になるレンズです。

2022年4月にオルソケラトロジー事業推進部を新設し、「プレスオーコレクト」の国内外における販売体制の強化を図るべく、製品価値の向上・販売環境の整備・医療機器として適正な告知活動等を展開しています。



【男性育児取得率】

多様な人材が活躍できる風土を醸成するために、フレックスタイムや在宅勤務の導入等個々人の環境に合わせて働く環境づくりをしています。また、2018年4月鴻巣研究所の隣接地に開園した複合型の保育・児童施設「ふくろうの森（シード保育園）」の利用に加え、時短制度や育児休業制度とあわせて、男女の区別なく自分らしい関わり方で仕事と育児を両立することが可能です。2020年度9.1%しかなかった男性育児休業取得率を2022年度には66.7%まで向上させました。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File27 シーメンスヘルスケア株式会社 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

本社所在地：〒141-8644 東京都品川区大崎 1 丁目 11 番 1 号 ゲートシティ大崎ウエストタワー

SIEMENS
Healthineers

メーカー

<会社概要>

日本においては、シーメンスヘルスケア株式会社（画像診断装置）、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社（診断薬・臨床検査）が中核を担っており、日本における医療環境の急速な変化の中でお客様と共に医療向上に取り組んでいます。私たちには 120 年以上の長い歴史があり、世界で 1 万 4,000 件の特許を取得しています。70 を超える国々におよそ 7 万人の社員がおり、一人ひとりが未来の医療を形づくるために、日々まい進しています。

■シーメンスヘルスケア株式会社

画像診断装置：MRI、CT、分子イメージング（PET / SPECT）、ヘルスケア IT 機器など

治療装置：血管撮影装置、放射線治療装置、手術室関連装置、超音波装置

■シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

生化学・免疫学検査、総合血液学検査、血液ガス分析、尿自動分析、糖尿病検査、新生児スクリーニング検査、環境検査、等の装置および試薬



<トレンド>

シーメンスヘルスケアでは 2022 年に業界に先駆けて、精度の高い画像診断を実現するフォトンカウンティング CT「NAEOTOM Alpha」をリリースし、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクスでは「クリニテスト COVID-19 抗原迅速テスト」を医療用・一般用に販売しています。世界中の人々の QOL 向上のためにヘルスケアの可能性を押し広げるべく、診断、検査、治療、それぞれの分野で常にイノベーションを起こし続けています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File28 ジャパンガス株式会社

本社所在地：〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町 2 番 7

Japan Gas

製造 (滅菌)

<会社概要>

「無菌である事」を提供し続けています。

当社は「無菌である事の提供」を不変の企業理念とし、その理念のもとで確実な滅菌を社会に提供しています。

さらに、「安全」「安定」には、まずは社員の「安全」と「健康」維持が重要と考え、健康経営の取り組みを方針として掲げています。医療及びお客様の工程を止めないために製品とサービスの安定供給に努め、社会に貢献できるよう社員一丸で取り組んでいます。

当社は、2019 年に創業 50 周年を迎えました。

今後も社員一人ひとりが企業理念を最優先のテーマとし、私たちの活動が世界の医療や衛生環境に寄与している自覚をもって、お客様の立場になって行動していきます。

しかしながら、世界の不確実性は高まっており、振れ幅が大きく先の見通しにくい時代になってきています。現状に満足せず、事業の展開や新技術へ挑戦するイノベーションの社内文化構築を行い、

常に社員とベクトルを共有しつつ柔軟かつ俊敏に対応できる会社づくりを目指しています。

そして、「ジャパンガスに頼めば安心」とお客様から評価され続けるよう努力しています。



<トレンド>

■EOG 滅菌トータルソリューション

1970 年設立以来、滅菌一筋の会社です。滅菌装置の販売、自社工場での滅菌作業で蓄積された膨大なノウハウを持つ滅菌スペシャリストです。

委託はもちろん、設備の新規導入・点検・メンテナンス、自社での残留分析・培養検査や滅菌工程の確立に欠かせない滅菌バリデーションなど、EOG 滅菌の悩みは総合的な提案で解決します。

近年は設備メンテナンス部門、理化学・微生物試験部門及び生産部門の事業拡大を計画しています。又、最新技術へのチャレンジとして滅菌装置内の EOG 濃度を直接監視するための濃度センサーの最適化に取り組んでいます。

また、ジャパンガスは、全国に展開する産業ガス専門商社、巴商会グループの一員で海外も含めたネットワークを持っています。

■人にやさしく環境を大切に最新鋭の滅菌工場

受託滅菌市場の需要拡大に対応するため、神奈川県小田原市に「小田原滅菌センター」を新設いたします。2024 年 7 月の本格稼働を予定しております。

新たな滅菌センターでは親会社である巴商会と共に、太陽光による再生可能エネルギーを活用した水素ボイラーを使用し「カーボンニュートラルの EOG 滅菌」にチャレンジいたします。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File29 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー

Johnson & Johnson
FAMILY OF COMPANIES IN JAPAN

メーカー

本社所在地：〒101-0065 東京都千代田区西神田 3 丁目 5 番 2 号

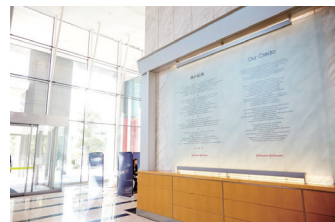
<会社概要>

ジョンソン・エンド・ジョンソン（J&J）では、医療現場での手術や治療に使われる機器や医療用医薬品など、広くヘルスケアに関わる製品を扱っています。J&J の医療機器部門であるメディカルカンパニーは、人々が健康で幸せな人生を送るためのサポートを提供すべく、外科手術一般、整形外科、循環器科などにおいて事業を展開しています。1 世紀を超えて培ってきた専門知識に基づき喫緊の医療課題解決に取り組みつつ、人々の医療体験をより良いものにするため、またより新しい治療水準の確立につながるよう、革新的な取り組みを行っています。また J&J の成長を支える重要な要素のひとつに、「我が信条（Our Credo）」と呼ばれる企業理念があります。1943 年の起草以来、約 80 年にわたって社員一人ひとりの行動基準となってきた「我が信条（Our Credo）」には、「顧客」、「社員」、「地域社会」、「株主」という 4 つのステークホルダーに対して果たすべき責任が掲げられています。すべての行動において、常に 4 つの責任の遂行を優先する。それは、時代が変わっても、世界のどこに行っても、決して揺らぐことはありません。この理念に共感し、共に責任を果たし続けられる方と一緒に働きたいと思えます。



<トレンド>

J&J では、「我が信条（Our Credo）」に基づき、「ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン（DE&I）」を経営上の重要な戦略の一つと位置づけ、トータルヘルスケアカンパニーとして顧客へ貢献するため、社員ひとり一人が最高のパフォーマンスを発揮できる環境作りに取り組んでいます。従業員の個性豊かで多様な視点は、異なる経験や考えを受け入れる環境を生み出し、このような環境が、世界のヘルスケアニーズにより良く対応し、ヘルスケアを進化させるために必要なイノベーションを加速させると確信しているためです。マネジメント、特定のダイバーシティ領域に関する啓発などを行うエンployee・リソース・グループ（ERG、社員の自発的なグループ）、HR（人事）などが連携し、全社員で推進しています。ERG は、女性リーダーシップ推進活動に取り組む「Women's Leadership & Inclusion（WLI）」、LGBTQ+ に関する意識醸成・啓発活動に取り組む「Open&Out」、障がいの有無に関わらず一人ひとりが最高のパフォーマンスを発揮できる職場環境を創り上げていくことを目指す「Alliance for Diverse Abilities（ADA）」、そして「全ての世代の多様性を活かす」ことを目的とする「GenerationNOW」の 4 つが活動しています。こうした活動を通じて、社員一人ひとりのあらゆる強みを活かし、また社員の声に耳を傾け、誰もが働きがいのある職場であり続けられるように、日々努力を重ねています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File30 スミスマディカル・ジャパン株式会社

icumedical
human connections

メーカー

本社所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂 7 丁目 1 番 1 号

<会社概要>

スミスマディカルはアメリカに本拠を置き、世界 30 カ国以上でビジネスを展開する医療機器メーカーです。患者治療への貢献、QOL（Quality of Life）の確保のみならず、医療従事者や関係者の安全性、また医療費の適正な管理を促すため、高品質で先進的な医療機器・サービスの提供を行うことを使命としております。Infusion Therapy（輸液ポンプ）、Vascular Access（血管輸液、投薬）、Vital Care（術中管理）、Specialty Products（人工呼吸器他）において長く使用されている当社の製品は、急性期医療、慢性期医療、さらに在宅医療において幅広く使用されています。



世界中で高い評価を得ている当社製
携帯用輸液ポンプ

<トレンド>

■臨床現場第一主義

ICU メディカルの技術は、患者さんの生命を救い、QOL を確保するための輸液療法を、安全に、正確に、かつ効率的に投与できるよう、臨床現場での経験と知識を基本として改善を続けています。

■ICU メディカルの価値観／ヒューマンコネクション

*私たちは医療のすべての過程において、製品が安全で信頼性を確保するよう設計製造を行っています。

*私たちは患者と医療従事者の間に信頼に基づいた結びつきを確立することで医療の結果を向上させ、質の高いケアを実現することを目標とします。

■力をいれていること／人材育成

医療業界の知識がない方でも安心して業務に携われるように、入社後には、質と量を確保した入社時研修、その後のフォローアップ研修、医療現場における OJT、学会参加などの様々なプログラムを継続的に提供しており、専門知識を基に医療へ貢献できる人材育成に力を入れています。

今後、高齢化社会が加速する中で、広い視野を持ちニーズの変容・多様化に対応した製品の提供・サポートを行える人材を開発していくことを会社の優先施策として位置づけております。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒062-0021 北海道札幌市豊平区月寒西1条8丁目8番7号

<会社概要>

1981年に北海道で創業して以来、臨床検査薬の開発、製造、販売を手掛ける独立系専門メーカーです。

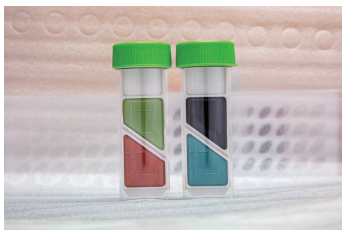
『検査薬で、医療を変える』

開発、製造、販売、サポートすべてを自社で行うことで、様々な“価値”をお客様に提供しています。例えば「お客様の要望に応じた製品を開発し提供する」「学術的な問い合わせに営業と研究所がタッグを組んで迅速に解決する」「検査薬としての正確さとユーザビリティ（取り扱いやすさ）を追求し、検査ソリューションを進める」等々。

お客様が求める“価値”とは何なのか。常に探求し、お客様の期待を超える価値を提供することで、私たちは医療の在り方に変革をもたらします。

『どこよりも“正確さ”を追求し、高度な医療ニーズに応える』

当社の一番のこだわりは、「性能に妥協しない」こと。国内では数少ない臨床検査薬の専門メーカーとして、徹底的に調査、研究と試験を繰り返し、性能にこだわった製品づくりを進めてきました。高性能な製品は、医師がより正確な診断、治療計画を立てることに役立ちます。当社の製品は、全国の大学病院等、高度医療が求められる検査の現場に数多く採用され、社会の医療に貢献しています。



<トレンド>

日本は、世界一の長寿国となりましたが、いま問われているのはその生きているあいだの状態、つまり「生きる質」です。

生きる質「QOL（Quality of life = 生活の質、生命の質）」を高めていくためには、対症療法に頼るしかない現在の医療システムを変革し、日頃の健康管理のデータから自分の身体の状態を常に正確に把握できる「予防医療」の環境整備が求められています。

臨床検査薬は、そんな予防医療を推進する上で極めて重要な分野の一つです。日本だけではなく、海外へ made in SEROTEC の高品質な製品の提供や人間以外の検査領域についても当社のノウハウを生かしていきたいと考えています。

私たち当社は、この臨床検査薬を通じて、多くの人たちの健康、そして、その先の笑顔に貢献しています。創業当初からこの切実な思いを忘れず、より優れた予防医療を確立していく歴史の当事者として、当社は使命感を原動力にこれからも歩み続けます。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目23番13号

<会社概要>

弊社は「人工心肺装置」「ECMO装置」や「全身麻酔器」といった、医療機器を製造・販売するメーカーです。医療機器の中でも、手術室の中で使用される治療機器を主に取り扱っているので、一般の方にはあまり馴染みがないかもしれません。しかし、医療現場の方々には、当社のブランド“QUERA”として、幅広くご支持いただいております。全国の医療機関で当社製品をご使用頂いています。

泉工医科工業株式会社の設立は1950年ですが、その前身である青木器械店の時代まで含めると80年を超える歴史を有しています。日本が高度経済成長を迎える前、戦争の復興期にあたる時代に、国産初となる医療機器（人工心肺装置や麻酔システム）を販売しました。

社名に含まれている“泉”の文字は、「泉のように尽きないアイデアをもって、医療の発展に寄与する」という想いが込められています。創業以来、より高い安全性・信頼性を備えた製品の改良・開発を進め、顧客（医療機関）へのご提案を行っております。



<トレンド>

コロナ禍においては、重症肺炎患者の治療手段として ECMO 装置が注目された事は記憶に新しいかと思います。当社でも ECMO 装置は長い歴史を持つ製品であり、特に重症化への早急な対応が求められていた際には、国等の支援も受けながら装置の増産及び改良に努め、また ECMO 人材の育成にも協力させて頂きました。

今後も、感染症に限らず生活習慣病など様々な疾病の治療にて必要な医療機器の開発を行い、また患者様の QOL を尊重した低侵襲手術のデバイスにも取り組んでいます。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒141-8588 東京都品川区大崎1丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー 22F

<会社概要>

センチュリーメディカルは、伊藤忠グループの医療機器専門商社です。
“健康と豊かさを担う”を企業理念に掲げ、伊藤忠グループの一員として国際的な情報ネットワークを活用し、アメリカをはじめとする先進諸国からグローバルな先進医療機器を輸入し、医療現場に提供しております。

医療機器専門商社の強みを活かし、マーケティング・販売、薬事・品質安全管理で高い専門性を持ちながら、幅広い診療分野をカバーしています。
また、医療機器の販売にとどまらず、製品に関する学術情報やトレーニング機会を提供したり、医療従事者の方々からの声を医療機器メーカー様に届け、日本の医療現場に適した製品改良にも努めています。
皆さまの QOL（生活の質）向上に寄与すべく、これからも医療の良きパートナーとして社会に貢献していきます。

[当社の Mission]

私たちは、挑戦と進化を続け、信頼される医療機器とサービスの提供を通じ、人々の健康と豊かさに貢献します。

[当社の CoreValue]

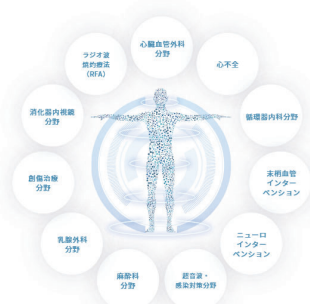
- ・信頼と責任
- ・患者様第一
- ・挑戦と進化



<トレンド>

日本は世界に先駆けて超高齢化社会に突入し、健康寿命の延伸や疾病の高度化のため、先進的医療の提供が求められています。医療機器は、現代の医療の重要な要素であり、患者様の予防・診断・治療・予後に不可欠な役割を果たしますが、現在の医療機器開発では、製品開発・治験・薬事申請・販売など各フェーズを別々の企業が担当する場合があり、先進的医療機器の国内販売には多大なコストと時間を要する社会課題があります。その課題に対して、同じ伊藤忠グループで医療機器の治験に強みを持つエイソーヘルスケアとパートナー契約を締結し、相互の強みを活用し、国内外の医療機器メーカー様に開けたサービスを提供致します。

日本では未承認でありながらも有望な医療機器シーズに対して、両者のこれまでの業界経験・ノウハウを最大限に活用して国内販売開始までに必要な支援を提供し、有望な技術を実現化する基盤を迅速に構築し、また北米、欧州、日本を含むアジアなど世界中の先進的医療機器を日本にいち早く導入することで、より多くの治療の選択肢を患者様に提供することを可能にし、予防・診断・治療・予後の全ての観点から日本社会の健康促進、社会課題解決に貢献致します。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら!



本社所在地：〒102-8139 東京都千代田区富士見1丁目3番8号



<会社概要>

株式会社田中歯科器械店は、大正12年に田中よぶ氏が創業しました。令和5年に100周年を迎えた歯科医療に関わる各種製品の販売を行う総合商社です。

飯田橋の本社、日本歯科大学生命歯学部様及び日本歯科大学附属病院様に両売店、横須賀市には神奈川支店並びに神奈川歯科大学様に営業所、新潟市には新潟支店並びに日本歯科大学新潟生命歯学部様に売店を拠点として活動しています。
歯科の総合商社として教育機関様には、学生実習器材の提供を通して、未来の歯科医療人の育成を支援させていただいております。また歯科医院様や歯科技工所様には最新の診療器材の提供で患者さんの口腔環境を整えるお手伝いをさせていただいております。そのほかに、新しく歯科医院や歯科技工所を開業されたい先生方のご開業や移転、リニューアルの支援も行っています。

経営理念「想いを込めて face to face. あなたとほっこり感動できて嬉しいなっ。今日もにっこり、ルンルン気分♪それが株式会社田中歯科器械店です。」を元に、誠意を持って対応し、聞けていただける全ての方ににっこり、ルンルン気分になっていただけるよう、全社員で仕事をしています。そして社会貢献できていることが私達の喜び・誇りです。



<トレンド>

【研修を通じて自己の成長を】

当社では、業務に必要な製品勉強会以外に、研修を通してお客様のお役に立てる企業へレベルアップすることを目指しています。

管理職は全員2年間の外部研修を受講しています。
上記目的はもちろん、異業種の仲間と学ぶ2年間は仕事だけではなく、自身の人生観も変わったり、交友関係が広がったりとそれぞれ有意義な時間になっています。また、外部研修コース卒業後も1年に1〜2回振り返りの講義に参加し、久しぶりに会う仲間と楽しく真面目に学び自己研鑽しお客様のお役に立てる企業になれるよう自社の組織運営にも役立っています。

選抜された中堅社員も約1年間の外部研修コースを受講しています。
こちらも期待の若手社員が集まった異業種の勉強会で、さまざまな価値観・多様性を学びながら自己成長につなげてもらっています。

4年前からは全社員で異業種の会社様3社と合同で年1度の研修会を行っています。
異業種の方との関わり合いで新たな気づきなど自己の成長につなげてもらっています。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら!



本社所在地：〒163-1450 東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号 東京オペラシティタワー 49 階

<会社概要>

テルモは世界 160 以上の国と地域でビジネスを展開している日本発のグローバル医療機器メーカーです。『医療を通じて社会に貢献する』という企業理念の下、30,000 人以上のアソシエイト（社員）が革新的なソリューションを届けるために日々働いています。テルモは多くの医療の現場で基盤となる注射器や薬剤投与・輸血関連製品などのベーシックな医療機器から、カテーテルや人工心臓、血糖測定器など最先端の製品まで、幅広い領域で活躍している、医療機器業界ではユニークな企業です。3つのカンパニーを展開し、世界の医療現場と患者さんによりよい製品とサービスを提供しています。1921 年に体温計の町工場として「日本」の国民衛生を支えるために設立されたテルモは、昨年創立 100 周年を迎え、今や 50,000 点以上の製品やサービスを通じて「世界」の医療に貢献する企業に成長しました。長年培った強固なブランドを活かし、世界が抱えている新たな医療課題の解決に挑戦することこそがテルモの使命です。



<トレンド>

■社内イベント「Terumo Patient's Day 2023」を開催
毎年 9 月 17 日の創立記念日にあわせて実施しているこのイベントは、アソシエイト一人ひとりがテルモの企業理念「医療を通じて社会に貢献する」に立ち返り、患者さんの声に耳を傾けることで、自身の日々の仕事为患者さんのために存在していることを実感するための日です。2013 年以降、毎年がんや心臓病、糖尿病などのテーマを定め（今年は「脳卒中」）、関連する患者さんや医療従事者を招いて実施しています。

■2023 年度グッドデザイン賞を 5 製品で受賞
グッドデザイン賞は、製品、建築、ソフトウェア、システム、サービスなど、形のある無しに関わらず、課題の解決や新たなテーマ発見を導くデザインを評価・顕彰しています。テルモは、1989 年に人工肺「キャピオックス E CX-E30」で初めて同賞を受賞し、1996 年以來 28 年連続で受賞をしています。

■令和 5 年度全国発明表彰の「文部科学大臣賞」と「発明実施功績賞」を受賞
薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster（アルチマスター）」シリーズの薬剤塗布技術を評価いただきました。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷 2 丁目 40 番 8 号 本郷三丁目THビル 6 階

<会社概要>

テックは 2011 年 4 月の創業以来、一人一人の患者に適切な医療が提供するプレジジョンメディシンの社会の実現を目指し、情報技術を用いて貢献しています。最先端の情報技術やバイオインフォマティクスの知見を武器に、当社が開発した Chrovis を用いて、がんをゲノムレベルで理解し、そのがんにあった診断・治療・予後予測・予防を提供する「ゲノム医療」を支援するサービスを医療機関に提供し、事業展開をしています。

がんのゲノム医療は 2019 年に保険収載され、全国に広まってきています。医療現場においては、ゲノム医療における検査の結果から、がん細胞の遺伝子の変化を知り、それと疾患や薬剤との関連を解釈し、ゲノム情報に基づいた診断や治療法を判断しています。この解釈や報告書作成は専門家による会議（エキスパートパネル）が開催され実施されますが、多大な手間が大きな課題です。当社は Chrovis を活用して、複数のデータベースやガイドラインなど膨大なデータを自動処理し、アノテーションしたレポートを提供することで検査結果を判断する医師のサポートをしています。併せて患者さんへの説明補助資料作成などでもサポートしています。

<トレンド>

テックは、大学発ベンチャー表彰 2019 にて文部科学大臣賞をはじめ、多数のスタートアップ関連の賞を受賞するなど高評価を得てきました。

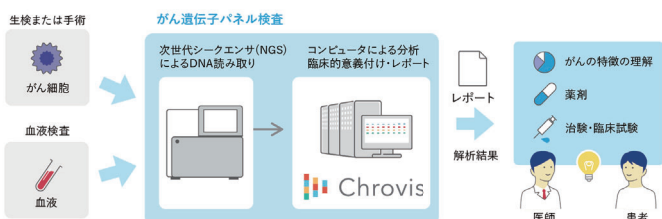
事業ドメインであるゲノム医療は 2019 年に保険適用で広がり、年間 2 万件以上の検査が全国で実施され、ゲノム医療関連市場は堅調に拡大成長を続けています。2023 年にはゲノム医療推進法案が施行され、政府の「骨太の方針」にも「がん遺伝子パネル検査」「全ゲノム解析」が入り、国を上げてゲノム医療を推進しています。こうした状況を踏まえて、当社は、拡大する医療現場のニーズに合わせた Chrovis の機能・サービス拡張と開発をさらに加速していきます。

また、2020 年に社内で薬事体制を整備し業許可を得て、現在、薬事承認を目指した活動もしております。プログラム医療機器 (SaMD) では、2023 年 3 月に厚労省より優先的な審査の対象品目に指定もされています。

さらに今後、国内の事業の拡大に加えて、空間的な近さに加え、ゲノムの視点からも近い東南アジアへの展開も考えており、2019 年より事業開発を開始しています。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



<会社概要>

1955年の創業以来、世界の最先端をゆく様々な先進医療機器の輸入を手掛けてきました。当社の創業者の佐多保之は医師であり、「一人でも多くの人を救いたい」という思いから、当社を設立し、当時、医学が進んでいたアメリカの医療機器の輸入をはじめました。当社では医療現場の声に耳を傾け、安全で安心できる最先端の医療機器を提供することを重視。医療機関との長年の信頼関係による安定した経営基盤を築いてきました。人工呼吸器をはじめとした、生命に密接にかかわる医療機器の分野で一貫して信頼性の高い製品を提供しており、各医療施設で高い評価を受けています。1973年にアメリカ・ロサンゼルスで設立した TKB International, Inc. を皮切りに、海外にもグループ会社を設け、先端技術による医療機器の輸入を行って、事業成長を続けてきました。現在は、フランス、イタリアにグループ会社があり、グローバルに事業を展開しています。グループ会社では医療機器の開発・製造も手掛け、フランスの SOPHYSA S.A. の水頭症治療用シャント、イタリアの OPT SURGISYSTEMS S.R.L. の手術台は、日本をはじめとする世界各国で販売されています。



<トレンド>

■創業 70 周年に向けて

『生命力』という経営理念を掲げる当グループは、全ての人の『生命力』ができるだけ強化され、いきいきとなるようお手伝いすることを使命とし、今後もグループ一丸となって、医療機器を通して社会へ貢献してまいります。

■オフィス移転

2023 年の 3 月に、東京のオフィスが天王洲に移転となりました。駅直通のオフィスで近隣には商業施設もあり、より快適な職場環境が整いました。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



<会社概要>

<化学の革新を通して、幸せを実現し、社会に貢献する>

私たち東ソーは、石油化学事業、クロル・アルカリ事業などのコモディティ分野と、機能商品事業を中心とする付加価値の高いスペシャリティ分野を両軸で展開する創業約 88 年の総合化学メーカーです。バイオサイエンス事業部は、SDGs のひとつである「すべての人に健康と福祉を」を踏まえて、「分離・分析技術に基づく革新的な製品の提供と顧客サポートを通じ、世界の人々の健康で快適な暮らしに貢献する」ことを理念としています。この理念の実現を目指し、①計測製品群（液体クロマトグラフィー用カラム・関連製品／分離精製剤【TOYOPEARL®】）と②診断製品群（グリコヘモグロビン分析【HLC-723GR01®】・免疫診断【AIA® / AIA®-CL】・遺伝子診断【TRCReady®】）の装置／試薬の研究開発・製造に取り組み、欧州・米国・中国に販売拠点を設けてグローバルに事業展開を進めています。海外大手企業との競争は過酷を極めています、当社独自のコンセプトに基づく製品群を擁して更なる成長を目指して日々業務に取り組んでいます。



<トレンド>

■新規卵巣がんマーカー TFPD2 / 新型コロナウイルス関連試薬の開発・上市

新規卵巣がんマーカー TFPD2 は横浜市立大学との産学連携で創製した新規腫瘍マーカー（2021 年 4 月に保険収載）であり、卵巣がん診療への貢献が期待されています。2019 年に出現した新型コロナウイルスに対しては遺伝子検出・抗体4試薬、抗原測定試薬を次々に上市しました。これらの開発製品は、緊急事態宣言下で行動制限があった中で、関係者全員がベクトルを合わせ、英知を結集して、新型コロナウイルスという未知なる難敵にバイオサイエンス事業部一丸で立ち向かった証です。

新型コロナウイルス迅速測定への挑戦



■バイオ医薬品製造向け製品群の拡充

2021 年度に世界初の卓上型連続クロマトグラフィー装置製造・販売会社 Semba 社を完全子会社化し、連続クロマトグラフィー事業への展開を狙うと共に、液体クロマトグラフィー用分離剤トヨパール® および充填カラム SkillPak™ 事業とのシナジー創出を推進しています。今後も既存事業の強化や周辺・新規領域への展開を通して、バイオ医薬品精製のトータル・ソリューション・プロバイダーを目指していきます。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File39 東レ・メディカル株式会社

本社所在地：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番1号 日本橋本町東急ビル4F

TORAY

メーカー

Toray Medical Co., Ltd.

<会社概要>

<グループの技術力を生かして>

東レグループは、繊維や樹脂、フィルムといった素材の会社として事業領域を広げてきました。東レ・メディカルは東レの繊維技術を生かし世界で初めての合成高分子膜による人工腎臓を提供したことから始まり、現在に至るまで、東レグループの医療・医薬分野における唯一の会社です。

<事業内容>

事業部門は、『血液透析事業』『医療用具事業』『救急・集中治療事業』の大きく三つに分かれ、『血液透析事業』では、人工腎臓（ダイアライザー）の販売や透析用監視装置を含む透析関連装置の企画・開発から販売、アフターメンテナンスまでワンストップ

で対応できるという、他社にはない強みを持っています。

『医療用具事業』では手術用手袋から心臓治療用のカテーテルまで、さまざまな領域での先端医療に貢献し、『救急・集中治療事業』では、血液浄化器等の急性期の患者さんに向けた製品を扱い、救急・集中治療をバックアップしています。弊社は、今後も東レグループの技術力を集結して、良質で高度な医療製品とサービスを提供し続けることで社会に貢献していきます。



<トレンド>

<次世代透析システムの実現に向けて>

透析治療は、1回3～4時間の治療を週に3度行う必要があり、患者さんにとっても医療従事者にとっても負担の大きい治療です。

弊社は、透析用監視装置の開発において合理的・効率的なシステムを構築することにより、医療現場のヒューマンエラーを低減し、患者ケアを第一に考えられる運用をサポートします。2021年には、透析治療の準備から終了までの一連操作を支援するナビゲート機能を搭載した「TR-10EX」を発売しました。災害・緊急事態を想定した各種監視・支援機能も備え、「もしも」のときの操作もサポートします。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



File40 株式会社トプコン

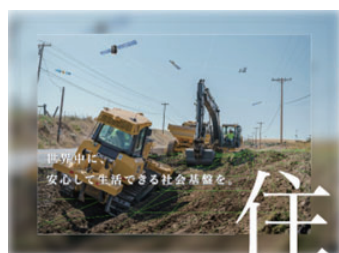
本社所在地：〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75番1号

TOPCON

メーカー

<会社概要>

人々の生活基盤を支える『医・食・住』（眼科医療、IT農業、インフラ）それぞれの分野における社会的課題を、当社のコア技術である精密光学、衛星測位、3次元計測やセンシング・制御技術をベースに、ITやネットワークを駆使したDXソリューションで解決する光学機器メーカーです。最先端のICT・IoT・AI技術を融合し、先進性・独創性のある製品を世に送り出しています。海外売上比率82%、世界74拠点を誇るグローバル企業です。



<トレンド>

「医」（Healthcare）

世界的な高齢化や生活習慣の変化に伴う眼疾患の増加に対し、眼疾患の早期発見・治療の仕組みづくりに取り組んでいます。

視覚障害の原因の多くは慢性疾患、加齢による疾患が多い為、検診による正確かつ早期の発見、また重症化させないように定期的な経過観察が必要です。

そこで、トプコンでは最先端の眼科診断・検査機器や電子カルテ、IoTネットワークソリューションを組み合わせ、眼の健康診断の仕組みを普及・推進しています。

また、近年では遠隔診療も国内外で必要性が高まっており、そのために必要となる各種システムも開発しております。

「食」（Agriculture）

世界的な人口の増加や自然災害に伴う食糧不足に対し、安定した食糧生産のため農業の生産性と品質の向上に取り組んでいます。

「住」（Infrastructure）

世界的なインフラ需要に対応する技能者不足という課題を解決するため、建設工事の効率化と品質の向上に取り組んでいます。

もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー22階

<会社概要>

日機装は独創的な技術で、工業用特殊ポンプ、高精度精密機器、航空機用部品、医療機器等の多種多様な製品を取り扱い、国内だけでなく海外でも高いシェアを誇っております。

その中で、医療機器を扱うメディカル事業は、1960年に日本初の人工心臓の開発に成功し、この経験をきっかけに医療分野に進出しました。その後、日本初の国産化に成功した人工透析装置のほか、透析用監視装置とWebシステムの連携で安全な治療を支援する透析通信システム、血液回路、ダイヤライザー（人工腎臓）等の消耗品に至る様々な医療機器を製造し、現在人工透析装置は国内シェア50%以上を占めています。

また、近年ではマイクロ波を用いた世界初の外科手術用エネルギーデバイスであるアクトサージや持続的に血糖管理を行なう世界唯一の技術である人工膵臓を展開する等、医療の総合メーカーを目指し挑戦を続けています。

その他、新規事業として、2014年にノーベル物理学賞を受賞された名城大学の赤崎教授、名古屋大学の天野教授とともに、世界最高水準の出力・寿命・省エネ性能を持つ深紫外線LEDの量産開発に成功し、光触媒の力で空間を除菌・消臭するエアロピュア等、新しい夢の技術の開発を進めています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



自社オウンドメディア



<トレンド>

① AIを実装した透析装置の開発

昨今、AIによる画像診断などAIを実装した製品の開発が進んでいますが、当社の透析装置でもAIが活躍する場面があります。現在は、医師や看護師が知識・経験に基づき、透析治療を行っていますが、モニタリングで得られる治療中の患者様の情報をAI解析することで、透析装置から最適な治療条件の提案ができます。また透析装置自ら故障予知をすることで、故障による不具合が起こる前に修理が可能になります。国内シェア率50%以上の実績から得られる多くのデータを活用し、安全な透析治療を提供していきます。



② 透析装置のグローバル展開とSDGs

当社は日本国内における透析装置のパイオニアとして、日本だけでなく、中国や東南アジア、欧米諸国への展開を進めています。特に中国は、中国国内での透析治療保険の普及や法規制の緩和により、透析市場が急成長しているため、積極的な展開を行なっています。

また、血液回路などは一度使用すると、感染・汚染のリスクからすべて使い捨てになっており、多くの廃棄物が出てしまっているため、焼却以外に分解などの方法でも処理できる血液回路の開発など新しいアプローチ方法にも挑戦していきます。

※参考URL：<https://bright.nikkiso.co.jp/article/medical/china>



本社所在地：〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜34番地14

<会社概要>

「みる」喜びと健康を技術で支え、変わらない安心を世界へ届けるニデックは創業以来、光学技術と電子技術を融合し、優れた技術力により競争力のある製品をつくり続けてきました。

現在は「医療分野」「眼鏡機器分野」「コーティング分野」の3つを軸として、世界を舞台に事業活動をおこなっています。

開発から製造、販売、アフターサービスまで一貫しておこない、お客様のご意見やご要望に迅速にお応えするよう努めています。

～医療分野～

「眼を測る」「眼を診る」「眼を治す」眼科医療におけるすべてにおいて、さまざまな視点から、ご提案・ご提供します。

～眼鏡機器分野～

「見える感動」「かける喜び」視力測定からレンズ加工まで、メガネづくりの全工程をニデック製品がサポートします。

～コーティング分野～

「目に見える光」「目に見えない光」これらを目に見えない薄膜で自在に操るコーティング技術。



<トレンド>

■2023年10月1日、「光干渉断層計 Glauvas（グラバス）」を発売しました。光干渉断層計（OCT）は、近赤外光を利用して網膜の断面を画像化するもので、目の病気の早期発見のために必要な眼底検査には欠かすことのできない機器です。Glauvasは、従来の3～5倍（※）のスキャン速度で眼底を高速スキャンし、高精度、高画質に撮影することが可能です。スキャンの深さは4.2mmと、従来に比べて2倍（※）の深さで広いエリアの画像を捉えることが可能なため、病気の早期発見につながる事が期待されます。

（※）当社調べ

■国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、2021年8月7日に「ニデックSDGs宣言」を策定しました。『「みる」喜びと健康を技術で支え、変わらない安心を世界へ届ける。』を10年後の当社の存在意義としています。「多様性社会との共存」「環境配慮と資源循環」「予防医療を促進する社会づくり」「目に疾病のある方を支える」に取り組むために4つの課題を設定し、明るい未来の実現に貢献できるよう、全社一丸となりさまざまな活動を推進しています。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File43 日本光電工業株式会社

Fighting Disease with Electronics
NIHON KOHDEN

メーカー

本社所在地：〒161-8560 東京都新宿区西落合 1 丁目 31 番 4 号

<会社概要>

日本光電は、医用電子機器および関連したシステム・消耗品類の開発・製造・販売・保守サービス・コンサルテーションを主な事業としています。救急現場、検査、診断、治療、リハビリなど、臨床医療のあらゆる場面で、最先端の技術と製品によって医療従事者をサポートし、医療に貢献することが日本光電の使命です。

さらに在宅医療・介護、健康増進や、基礎医療の研究分野など、日本光電の製品は幅広い分野で活躍しています。

「病を癒す・・・それは主義や国境を越えるもの。どんなに情熱を注ぎ込んでも悔いはない」

このゆるぎない信念のもと、医療ニーズや地域特性を見極め、数々の革新的な ME 機器を世界 120 カ国以上へ送りだしてきました。

医療環境は変化し、日本光電が生み出す製品も多岐にわたってきましたが、創業時の信念は今も変わることなく受け継がれています。

日本光電は、これからも病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦し、世界に貢献する企業として成長を続けてまいります。



<トレンド>

『グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造する』

大きく変わりゆく未来の医療環境において、創業から大切にしてきた理念をもとに新たな価値を創造し、世界中のひとと医療の未来を導く光となっていきたい。

私たちの強い想いを込め、2030 年に向けた長期ビジョン『BEACON 2030』を策定しました。

2024 年度は中期経営計画 BEACON2030 Phase II の初年度となります。昨年度までの Phase I「基盤の強化」を踏まえ、成長領域への投資を本格化します。同時に新たな事業モデルを構築し、既存事業との連携により、統合的な課題解決の獲得を進めます。

2023 年 7 月には、患者さんのバイタルデータを活用して、手術中に投与する麻酔薬の自動調節を行うソフトウェアを国内で販売開始しました。これは、日本初のロボット麻酔システムの一部であり、本ソフトウェアを使用することにより、麻酔科医の業務負担を軽減し、手術中の医療安全の向上に貢献することが期待されています。

今後も DHS 構想を推進するため、日本光電の強みである医療現場のバイタルデータを統合し、AI などを活用した解析・分析を行うためのデータプラットフォームを構築します。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File44 日本ストライカー株式会社

stryker

メーカー

本社所在地：〒112-0004 東京都文京区後楽 2 丁目 6 番 1 号 飯田橋ファーストタワー

<会社概要>

日本ストライカー株式会社は、整形外科、外科、脳神経外科、脳血管内科、耳鼻咽喉科、口腔外科、救急医療等、様々な診療科目で革新的な製品とサービスを提供するストライカーコーポレーション（本社：米国ミシガン州）の日本法人です。ストライカーは世界をリードする医療機器企業の一つであり、お客様である医療従事者の皆様とともに、世界 75 カ国を超える国々で、年間 1.3 億人以上の患者さんへの治療に貢献しています。ストライカーのミッションは『顧客と一体となって、医療の向上を目指します（英語原文：Together with our customers, we are driven to make healthcare better.）』であり、日々の業務を行う上での社員の行動の根幹となっております。私たちはこのミッションに基づき、製品の質の向上や技術革新に努め、医師、看護師、技師の方々と協力し合うことで患者さんの QOL（生活の質）を向上させるべく日々活動しています。そのために一人ひとりの社員がどのような心構えで業務に取り組むべきかを行動指針に定め、ミッションの実現のために取り組んでいます。



<トレンド>

日本ストライカーでは、「One Stryker Japan Vision」として「Innovation」「Growth」「Stryker Pride」の 3 つの柱に沿ってビジネスを推進しています。整形外科領域で日本で初めてとなるロボティクス手術支援システムや、電動式救急搬送ストレッチャーなど、イノベーションにあふれた医療機器を全国のお客様にお届けし、それまでなかった医療の未来を創り出すこと。そして日本の医療機器業界のリーディングカンパニーとして継続的な事業成長を実現すること。これらによって、私たち自身がストライカーで働くことに誇りを持ち、やる気に満ち溢れ、多様性を尊重し、“働きがいのある会社”になることを目指しています。日本ストライカーでは、グローバル全体での事業領域が拡大するとともにカバーする疾患領域や取り扱い製品群も年々多様化しています。多様化するビジネスやお客様のニーズに対応するために、成長機会となるトレーニングも数多く実施しています。人材力と総合力を強みとし、事業部や部門の垣根を越えた連携によって、患者さんの QOL に貢献するソリューションを提供しています。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File45 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 (日本 BD)

本社所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ



明日の医療を、
あらゆる人々に™

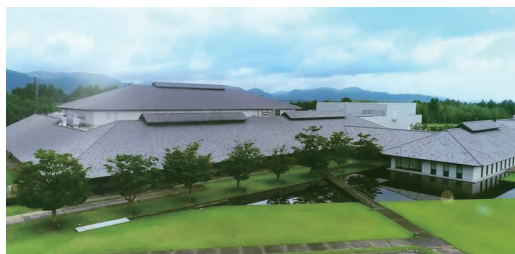
メーカー

<会社概要>

日本 BD は米国ニュージャージー州に本社を置く世界有数の医療機器・メドテック企業 BD の日本法人です。「明日の医療を、あらゆる人々に™」をパーパスとし、基礎研究、臨床検査、治療の分野で幅広い製品とソリューションを提供しています。BD は 1897 年に創立し、近年 125 周年を迎えました。世界 190 カ国以上で事業を展開し 77,000 人余の社員が働いています。2022 年の売上高は 189 億ドル (約 2.3 兆円 換算: 1ドル120円)。米国フォーブス誌の「世界最高の雇用主」、「最高の雇用主 (米国)」、および「ダイバーシティに優れた最高の雇用主 (米国)」の一社に選ばれ、環境、社会および企業統治 (ESG) に関する取り組みも評価されています。

日本においては 1987 年に福島工場が竣工。細菌検査用の生培地やプレフィル用シリンジ*など、グローバルスタンダードの製品を日本の品質基準でお届けしています。近年、日本 BD も創立 50 周年を迎え、これからの 50 年に向けて、自由な働き方とイノベーションを促進するオフィス環境を整え、インクルージョン&ダイバーシティ推進チームが「女性の活躍」、「障害に向き合う人々との協働」を進めるなど、さらに事業を加速させていきます。

プレフィル用シリンジ*: 医薬品を予め充填して販売されるシリンジ



<写真: 福島工場>

<トレンド>

BD の 3 つの事業領域

ライフサイエンス領域: 細胞の測定や造血幹細胞移植など、基礎研究や臨床現場で活用されるフローサイトメトリー技術を、1973 年に BD が世界で初めて製品化しました。新型コロナウイルス感染症診断に貢献する全自動 PCR 機器や迅速診断キットをはじめ、様々な感染症診断関連製品で医療現場を支えています。

メディカル領域: 「抗がん薬曝露から医療従事者を守る」というコンセプトのもとに開発された閉鎖式薬物移注システム (CSTD) は、2018 年 1 月に日本で初めて薬事承認 (クラス II) を取得。また近年、薬剤の誤投与を防いで医療現場の効率化に寄与するプレフィルドシリンジの製剤化について、トータルサポートサービスを開始。ロボットによるピッキング作業で、自動的に薬剤を入庫し、処方箋に基づき払い出す自動入庫払出装置は、調剤薬局業務の効率化に貢献しています。

インターベンション領域: 泌尿器分野では女性の排尿ケアをサポートする女性用体外式カテーテルで介護領域に本格参入。2020 年発売の末梢動脈疾患の治療に用いられる薬剤をコーティングしたバルーンカテーテルは、日本の医療現場のニーズに応じて開発されました。一般の方向け疾病啓発サイト「そけいヘルニアノート」で鼠径部ヘルニアの原因や症状、診断、治療について情報を発信しています。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら!



File46 日本ライフライン株式会社

本社所在地: 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号 天王洲オーシャンスクエア 25F

JL Japan Lifeline

メーカー

<会社概要>

日本ライフラインは、1981 年に心臓ペースメーカーの輸入商社としてスタートして 2021 年に創業 40 周年を迎えました。1999 年には自社製品の開発に着手し、専門商社兼メーカーというユニークなビジネスモデルで事業を拡大してきました。自社開発製品では、心腔内除細動システムやオープンステントグラフトなど、オンリーワン製品の市場導入を果たしました。また、海外メーカーからの仕入れ商品についても、先進的な医療機器を導入し、商社とメーカーという2つの側面を武器に患者様や医療現場に対して、より優れた医療機器を届ける形態をとっております。

また、国内 2 か所の大型物流拠点を軸に全国 48 の営業拠点をもち、全国の主要な医療施設をカバーする体制を取っており、地域密着型の営業体制によって、医療機器を迅速に医療現場へお届けすると共に、医療現場のアンメットニーズを拾い上げ製品開発に活かしております。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら!



<トレンド>

『オンリーワン製品と新規事業領域への参入』

主に扱っている心臓血管領域の製品群の中には、医療現場で必要とされているオンリーワン製品が複数ございます。また最近では、既存領域で得た知見を活かして『消化器』や『脳血管』の領域にも参入しております。

<オンリーワン製品>

■不整脈領域

S-ICD: 本体とリード線を皮下に植込むシステムである為、心臓や血管に触れる事無く心臓突然死から患者様を救うことができます。

■心血管領域

オープンステントグラフト: 奥に追加される人工血管の末梢側の吻合が不要であるため、開胸部位を追加する必要が無く、患者様の負担軽減につながります。

<新規参入領域製品>

■消化器領域

肝癌ラジオ波アブレーションシステム: ラジオ波による熱を発生させ肝臓病変を凝固・壊死させます。

■脳血管領域

塞栓用コイル: 脳動脈瘤内への血流を遮断し動脈瘤の破裂を防ぎます。

『サステナビリティへの取り組み』

「最新最適な医療機器を通じて健康社会の実現に貢献する」という経営理念の実践とあわせて当社を取り巻く様々なステークホルダーからの期待・要請に応えるため、サステナビリティ委員会が中心となって重要課題ごとに分科会を設置して持続的な企業価値の向上を目指し取り組んでおります。



本社所在地：〒430-8587 静岡県浜松市中区砂山町 325 番地の 6 日本生命浜松駅前ビル

<会社概要>

当社は「光」に関する製品を開発・製造・研究しています。

創立 70 年で培った光技術を用い、光センサ、フォトダイオード、光電子増倍管、カメラ、等の製品を生産しています。当社の売上比率で最も高いのは医療・バイオ分野で全体の約 4 割を占めています。医療分野の用途では、最先端医療装置 PET や、PCR 検査、X 線 CT 装置、歯科用診断装置などのセンサ部において高いシェアを占めています。

それだけでなく、我々の光センサは学術研究、自動車、産業など多岐にわたる分野のキーデバイスとして世界中で活躍しています。当社の特徴は、高い技術力を駆使して顧客の要望に合ったカスタマイズ製品を提案していくことで、多くの業界から高い信頼を得ています。

また当社は、厚生労働省の健康経営優良法人ホワイト 500 に選定され、さらに 2023 年は上場企業 49 社しか選出されていない健康経営銘柄に認定され働きやすい職場環境が整っています。

さらに財務的な面では営業利益率は 27.3% (2022 年 9 月期) と製造業平均と比較し非常に高く推移しています。そこで得た利益を研究開発費や従業員への還元に充てることで、新製品、新技術の開発、従業員の意欲向上を実現しているため、成長性も高い企業です。



<トレンド>

当社では、医療業界の発展に貢献すべく力を入れています。

例えば現在、病理医（細胞分析、細胞診、病理解剖から疾患の確定診断を行う医師）が 2000 人程度しかいないという課題があります。病理医がいない病院や診療所では病理診断に数週間もかかってしまいます。その問題を解決できるのが、当社の「NanoZoomer」です。当製品は遠隔地の病理診断を可能にしたため、より専門性の高い医師の診断や、小規模病院の病理診断の迅速化に貢献しています。また、現在「NanoZoomer」のアプリケーションとして、AI を活用した新規診断手法も開発し、医療の効率化を進めています。

また、最近のトレンドでは、コロナウイルスの検査に使用する PCR 検査や、X 線 CT に当社製品が使用されています。

X 線 CT は X 線などの放射線を照射して人体を輪切りにした画像を撮影し、体内の様々な病変を見つけるのに使用されます。がん検診で用いられる検査ですが、コロナウイルスの初期検査法としても用いられていました。また、PCR 検査では測定対象となる DNA を高速に増幅し、高感度測定を可能にしました。感染症検査以外にも、食品検査や犯罪捜査など幅広く応用されています。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒136-8670 東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号

<会社概要>

当社グループは 1947 年、病院用ベッドの専門メーカーとしてスタートし、高齢者施設や在宅介護分野、ベッド等の点検・メンテナンス、福祉用具のレンタル卸など、国内外で事業の多角化に挑んできました。近年では健康者に対して快適な睡眠環境を提案する健康事業にも進出。「as human, for human (人として、人のために)」を企業スローガンに、これからも様々な挑戦を通じてお客様満足度および企業価値のさらなる向上を目指していきます。

我々が提供できるものは、介護する方、される方双方の安心・安全を追及した医療・介護用ベッド、ベッドから派生した、より快適な使用環境を提供するための豊富な商品ラインナップ。病院全体の収益向上を目的としたソリューション提案。健康者に快適な睡眠環境の提案 etc…。1947 年にベッドメーカーとして誕生した私たちのビジネスフィールドは、今なお現在進行形で広がっています。



<トレンド>

私たちはこれまで、業界内で一步先を進んできたと自負しています。その背景にある強みの源泉は、社員全員が常にユーザーの皆さまの声に真摯に向き合っていることです。その思いを胸に、長期ビジョンの実現に向けて常に挑戦し続けるための基盤構築を推進しています。最新の活動については、下記のリンクからご参照ください。

<https://www.paramount.co.jp/news>



上記リンクで様々な活動の情報が掲示されていますのでご参照ください。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒105-6409 東京都港区虎ノ門一丁目 17 番 1 号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー

<会社概要>

当社は、半導体、医療、産業・社会インフラ等、様々な分野においてコア技術である「見る・測る・分析する」を基盤とした製品・サービスを展開しています。メディカル・バイオ分野では、検体検査で使われる「医用分析装置」や、DNA 鑑定に使われる「DNA シーケンサ」等を提供しております。当社が提供する技術・製品群はあらゆる技術領域の集大成です。機械、電気、電子、情報、物理、化学、生物など様々なバックグラウンドを持つエンジニアが活躍できるフィールドがあり、好奇心とモノづくりの意欲に溢れる方を積極的に受け入れています。また、日立グループの一員として、最先端の開発環境で世界トップレベルの研究者・技術者と切磋琢磨できる環境が整っています。そんな豊富な人財をつないでいるのは好奇心と開拓者精神です。当社は、より良い社会を実現したいという一人ひとりの想いを結集し、変化に柔軟に対応しながら新しい価値の創出をめざしています。一緒により良い社会の実現に挑戦してくれる方をお待ちしています！



<トレンド>

当社は、株式会社日立製作所と共同開発した「正確で高感度な血液検査を実現する画像処理モジュール」で、2020 年“超”モノづくり部品大賞の大賞を共同で受賞しました。“超”モノづくり部品大賞は、産業・社会の発展に貢献する「縁の下の力持ち」的存在的部品・部材を対象に、主催者であるモノづくり日本会議と日刊工業新聞社が選出し、表彰する制度です。

このたび受賞した「正確で高感度な血液検査を実現する画像処理モジュール」は、CMOS カメラ、LED 照明、画像処理マイコンなどから構成され、血液検査装置の採血管から検体の吸引を行う検体分取部に設置することで、血液検査を行う必要がある検体だけを画像自動判定機能により判定するものです。これまで臨床検査技師が目視確認により判定していた作業の一部を、独自の人工知能 (AI) 技術で自動化したことにより、検査業務の効率を飛躍的に向上させたことが高く評価されました。

日立グループは約 50 年前から体外診断の自動化への取り組みを始め、多くの製品を通じて迅速かつ正確な診断に貢献してきました。今後も、当社は体外診断の領域でさらなる自動化を通じて検査業務を効率化し、人々の QOL 向上に貢献してまいります。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路角手洗水町 678 番地

<会社概要>

今年で 40 周年を迎える京都市に拠点を持つボディケア企業です。国内外のトップアスリートを初め、多くの競技者をスポーツギアやサービスによってサポートしてきました。プロフィギュアスケーターの羽生結弦選手や卓球の早田ひな選手、野球選手が首に付けているネックレスを製造販売している企業として広く知られています。現在ではスポーツギアのみならず、化粧品から医薬部外品、医療機器、不動産事業にまで幅広く展開しています。



<トレンド>

医療機器分野としては、管理医療機器：磁気ネックレス（家庭用永久磁石磁気治療器）や一般医療機器（家庭用貼付型接触粒）等の製造販売を行っています。こりが気になる方に、手軽に生活の一部の中で使用していただくために、重量や装着感、衣類に影響しないデザイン、またスポーツシーン等にも使用できることを想定して開発しているのが特徴です。



当社は、国内外にファイテンショップという店舗やサロンが 200 店舗あります。医療機器に対する知識に乏しい一般消費者を相手にしているため、安心安全にご使用いただくために丁寧に説明することに常に注意を払っています。また、最近のトレンドとしては、物販中心のビジネスモデルから役務中心のビジネスモデルへと変革しており、店舗で医療機器を中心に「積極的に休養してもらう」、そんな提案を日々行っております。

もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒463-0024 愛知県名古屋市守山区脇田町 1703 番地

<会社概要>

私たちフィルメックは、血管内治療の結果を左右するデリバリーデバイス等の医療機器・医療機器部材を、CDMO・CMO（※）専門会社として世界のお客様に提供しています。また「最高の技術でお客様の期待を超えるソリューションを提供し、人々の QOL 向上に貢献する」をパーパス（企業の存在意義）とし、お客様の用途に応じて仕様を細かく検討し、最適な高品質の製品をオーダーメイドで提供しています。

（※） CDMO とは、Contract Development and Manufacturing Organization の略語で、委託者のブランドで製品を設計・生産することをいいます。
CMO とは、Contract Manufacturing Organization の略語で、委託者のブランドで製品を生産することをいいます。



ガイドワイヤー



バルーンカテーテル

<トレンド>

フィルメックは、朝日インテック株式会社 100%出資子会社で、2022 年 7 月に朝日インテックの事業であった CDMO・CMO 部門を吸収分割し、CDMO・CMO 専門会社として生まれ変わりました。

また、グローバルに運営を行う体制として、大きな成長が期待されている米国市場において、販売専門会社である Filmecc USA, Inc. ならびに設計開発専門会社 Rev. 1 Engineering Inc. と連携してビジネスの拡大を目指していきます。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒113-8483 東京都文京区本郷 3 丁目 39 番 4 号

<会社概要>

フクダ電子の歩みは国産第 1 号の心電計開発から始まります。そして 1939 年の創業以来、医療機器メーカーとして「社会的使命に徹し、ME 機器の開発を通じて医学の進歩に寄与する」ことを経営における不変の理念としてまいりました。事業内容として、人々の健康をサポートする医療用電子機器の開発、製造、販売、輸出入を行っており、全国 200 拠点以上の販売ネットワークで地域密着のダイレクトサービスを実現しております。心電計をはじめ、ホルター心電計、AED、生体情報モニタ、カテーテル、人工呼吸器、超音波画像診断装置、血圧脈波検査装置、在宅用酸素濃縮器など、医療従事者や患者さんのニーズに合った医療用電子機器の開発と販売を通じて、医学の進歩に寄与し、社会に貢献しています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



<トレンド>

■ワークスタイルイノベーション = 働きがい改革プロジェクト 組織力アップを目指し、「社員の幸せと会社の成長の両立」をテーマとした若手社員が中心となって活動する社内プロジェクトを継続して行っています。

■高機能電導性繊維を開発製造する、東北大学発スタートアップベンチャー「エーアイシルク株式会社」への第三者割当増資に参加し、当社医療機器開発技術とのシナジー効果創出を目指します。

■フクダグループは、経営理念の下、事業を通じて医療課題の解決に向けて取り組むと共に、サステナビリティ経営を強化し、持続可能な社会の実現と企業としての持続的成長の両立を目指して参ります。

< 環境 (Environment) >

リサイクルやリユース、温室効果ガスの削減、廃棄物の削減など環境負荷低減に向けた取り組みの定量化を検討・実施

< 社会 (Social) >

・ワークライフバランスを踏まえた職場環境作り
・継続した高品質・高付加価値製品の安定供給

< ガバナンス (Governance) >

・コーポレートガバナンス・コードに対応した情報開示
・コンプライアンスの徹底

【取り組み事例】

<酸素濃縮装置 部品のリユース>

・リユース部品管理規定に基づき、機能・性能・安全性・耐用期間・規格・法規制などに問題がないことを確認しています。
・品質確保の観点から、取り出されたリユース部品は、自社工場にて厳格な履歴管理の下で新たな製品に使用されています。

本社所在地：〒106-0031 東京都港区西麻布 2 丁目 26 番 30 号 富士フイルム西麻布ビル

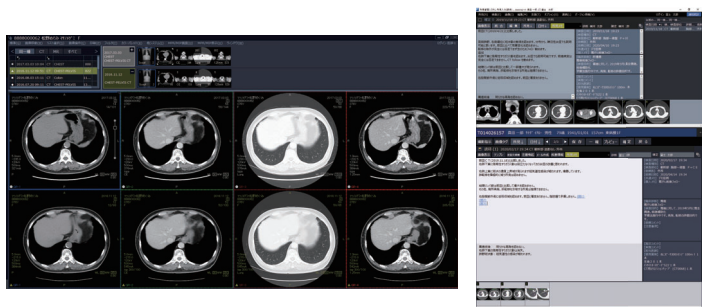
<会社概要>

私たち富士フイルム医療ソリューションズは、1990 年代から PACS、RIS、治療 RIS といった新しい分野を切り開いてきた医療 IT のトップランナーです。

そして今はヘルスケア事業を推進する富士フイルムグループにおいて中心事業の一端を担い、グループとして医療界に貢献しています。

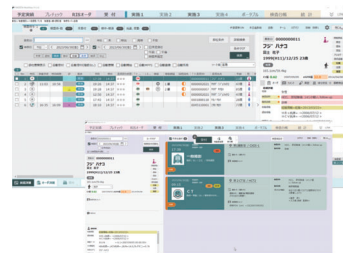
私たちは日本国内の大学病院・拠点病院を中心に、業務効率化や情報の共有化を実現するソリューションを提供しています。

社員数は 200 人に満たない企業ですが、開発～営業～導入～保守まですべて自社で対応できる幅の広さを持っています。そして全国各地の病院で私たちのシステムが現場の方々の日々の業務を支えているということが、私たちのプライドにもつながっています。現場の方々の声をシステムに活かし、より使い勝手の良いものとしてご提供することで喜んでいただく。これが私たち富士フイルム医療ソリューションズの価値だと考えています。



<トレンド>

2019 年 9 月に富士フイルムグループの一員となり、グループ内での協力による効果を大きくいかなるような製品の開発に最も力を入れてきました。医療情報システムの分野においても、AI 技術を活用したソリューションへの期待が高まる中、富士フイルムグループでは、2019 年 4 月に DeepLearning 技術を利用して画像診断を支援する読影ビューワ「SYNAPSE SAI Viewer」をリリースしています。グループ内の最先端である技術と我々が長年培ってきた ShadeQuest ブランドである画像情報管理システムを融合させ、読影業務の高度化、効率化を強力に支援するソリューションを作り上げてきました。また、2022 年には、放射線部門業務支援ソリューションブランドを立ち上げました。新ブランドである「RADISTA」は、放射線部門を意味する「RAD」、情報システムを意味する「Information System」、支える人を意味する「Assistant」を組み合わせた名称です。「放射線部門業務に従事する方々を最先端の IT システムで力強く支援し、お客さまとともに新たな働き方・価値を創出していく」という想いが込められています。2022 年 10 月にこのブランドの第一弾として、放射線部門業務システム「RADISTA Workflow」をリリースしました。今後も続々と同ブランドの製品をリリースしていきます。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒106-0031 東京都港区西麻布 2 丁目 26 番 30 号

<会社概要>

富士フイルムメディカルは、医療用情報ネットワークシステムや医療用診断システムなどの日本国内への販売と技術サービスを行っています。

富士フイルムが長年培ってきた独自の画像技術、光学技術、システム設計技術、さらには最先端の AI 技術や ICT を、製品・サービスを通じて医療領域に展開し、X 線画像診断分野をはじめ、ヘルスケア IT ソリューション、内視鏡、超音波診断、POCT 検査などの各分野へと事業を拡大しています。これにより、医療従事者の多様なニーズにお応えし、医療現場の課題解決を支援するとともに、人々の健康と豊かな生活の実現に貢献します。



<トレンド>

もっと“医療に貢献できる”富士フイルムグループになるために

富士フイルムメディカルは、長年にわたって医療現場に寄り添ってきた企業として、富士フイルムグループ各社との連携を通じてヘルスケア事業の発展に努め、医療への貢献拡大を推進しています。

1. 臨床情報の研究開発部門へのフィードバックにより、「創って・造って・提供する」のサイクルを実現しています。
2. 事業範囲を従来の診断領域から、内視鏡などを利用した治療領域へと拡大することで、ヘルスケア事業の領域拡大に取り組んでいます。
3. 医用画像診断に加え、子会社である富士フイルムメディカル IT ソリューションズと協力し、院内情報統合や地域医療連携分野の構築に取り組んでいます。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら！



本社所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂 1 丁目 8 番 1 号 赤坂インターシティ AIR 25/26 階

<会社概要>

私たち、富士レビオの主力事業は臨床検査薬、および臨床検査用機器の製造・販売です。「臨床検査薬」とは病気の早期発見や病状の進行状態を確認するために用いられる薬を指します。日本では、圧倒的に治療薬を扱う企業が多いなか、当社はこの臨床検査薬の分野において、国内有数の製薬会社として知られています。

当社は 1966 年、世界初となる梅毒の検査薬をリリース。以来、この分野における草分けとして、日本の免疫学的検査を牽引してきました。そして現在も、感染症および腫瘍領域を中心とした製品を全国の医療機関、検査センターなどで、広くご使用いただいております。

また、当社が開発した、全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス」シリーズは、感染症やがん、生活習慣病などの疾患に対応。その幅広い試薬のラインナップと、オリジナル性の高い試薬項目により、25 年以上にわたり高い評価を獲得しています。今日、国内外合わせ、1,500 台以上のルミパルスが医療機関や検査センターに導入されており、名実ともに「世界のルミパルス」となっているのです。



<トレンド>

■新型コロナウイルスに対する迅速な取り組み
2020 年 5 月、日本で初めて新型コロナウイルス抗原迅速検査キットの開発に成功。また、全自動高感度抗原定量検査試薬には世界で初めて開発に成功しています。



■CDMO 事業

富士レビオは日・米・欧 3 つの開発拠点をもち、国境を越えた連携でおよそ 100 ヶ国以上の国と地域にてサービスを展開しています。

CDMO 事業においてはニューロロジー領域・腫瘍マーカー・感染症・高血圧・糖尿病など、幅広い疾患を対象とした試薬の高い研究開発力を活かし、グローバル IVD メーカー等のパートナー企業様へ、原材料の供給や開発製造受託を通じて、ソリューションを提案しています。

私たちにとっては海外大手メーカーとタッグを組むことで、よりレベルの高い技術開発に挑戦できます。また、お客様にとっても、当社が原料開発から最終製品までワンストップで対応することでよりスピーディな開発・製造を実現。グローバル市場への参入により、世界の臨床検査分野もリードしていきます。

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



本社所在地：〒103-0027 東京都中央区日本橋 3 丁目 2 番 3 号

<会社概要>

「きく」の今と未来のために

マキチエは、病院で補聴器相談をするために生まれた会社です。耳鼻咽喉科と連携しながら、聴力や生活環境に合った補聴器選びときこえのサポートをしています。「医療機器である補聴器は医療機関内で医師と連携して扱うべき」という信念のもと、補聴器の開発・製造・販売までを一貫して行っています。

前身は 1945 年に新潟市で創業した電器店、先代社長は市内のろう学校から補聴器の修理を依頼された際、修理をした補聴器をつけた生徒が見せた笑顔に胸を打たれました。大学病院の補聴器外来立ち上げに民間企業としてはじめて参画、自社開発にも取り組み、世界初のリチウムイオン充電式補聴器や先進的な耳鳴り治療器を販売してきました。創業から 80 年を迎えようとする現在も、創業時の想いが変わることはありません。私たちは難聴者が聞こえの改善を実感するまで伴走することが使命と考えています。補聴器の普及を通してマキチエが目指すのは「元気なシニアを増やすこと」。補聴器で「よりよい聞こえ」を取り戻すことで健康寿命の延伸を目指しています。



<トレンド>

マキチエは 1945 年創業。補聴器の開発・製造をおこなう日本のメーカーです。東京日本橋にある工場で作るオーダーメイド式耳あな型補聴器は、すべて職人の手仕事によるもので、装着者お一人おひとりの耳のかたちに合わせて真心を込め丁寧に一つひとつ製作しています。耳のかたちは非常に複雑であるため耳あな型補聴器には匠の技による精緻な造形が求められます。そこには、ものづくりと真摯に向き合う職人達のこだわりと魂が息づいています。



飽くなき探求心、
匠の技のものづくり

もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！





本社所在地：〒612-8443 京都府京都市伏見区竹田藁屋町 50 番地

<会社概要>

京都・滋賀を中心に、福井・大阪地域に拠点を置き、13 期連続成長中の医療機器を提供する総合商社です。病院内で必要とされる医療用消耗品、手術機器、画像診断機器や試験研究機関への分析測定機器、試験検査機器等の理化学機器も取り扱っています。医療機器販売を通じて、かけがえのない生命と健康を守ることが私たちの使命であり、「すべてはお客様のために」を経営理念として、今日も明日も誰かを笑顔にするために医療現場、研究現場を創造していく力を大切にする企業です。

転居を伴う転勤が少ない地元密着企業で、文系理系問わず活躍できます。



<トレンド>

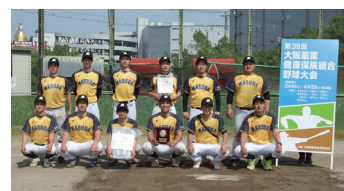
【こころづかい】

「確かに「こころ」は誰にも見えないけれど「こころづかい」は見えるのだ。同じように、胸の中の「思い」は見えないけれど「思いやり」は誰にでも見える」詩人・宮澤章二の詩の一節です。「こころ」を「つかう」、「思い」を「やる」つまり、心や思いは、具体的な行為に表してこそ、相手に伝わるものだということでしょう。

当社は今年で創立 95 周年を迎えました。コロナ禍という前代未聞の苦難に直面しました。取引先の医療機関が危機に陥った時、私たちにできることは何かを改めて深く問い直しました。医療材料を安定供給するのが私たちの使命です。医療施設や医療従事者の方々は、単に商売上の取引先ではなく、安心・安全の医療を担う共同体、同士だと強く感じ、共に支え合うことの大切さに改めて気付かされました。今後も、医療従事者の皆さまと連携、協力し、「こころづかい」と「思いやり」を持って、この困難を乗り越えていきたいと決意しています。

【野球部】

当社の野球部はおよそ 50 年の歴史があり、現在の部員は年齢層も幅広く活躍しています。今年 5 月に大阪薬業健康保険組合の主催する軟式野球大会が行われ、当社野球部が準優勝を収めました。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！

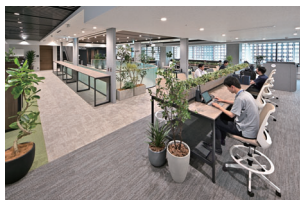


本社所在地：〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵 3 丁目 21 番 19 号

<会社概要>

メニコンは、日本で初めて角膜コンタクトレンズを実用化したバイオニアカンパニーです。コンタクトレンズ事業では、安全性へのこだわりを持ちながら、培ってきた技術力をさらに進化させ、快適さと便利さを備えたコンタクトレンズを創造すること。お客様の声に耳を傾け、お客様の目線で発想し、製品・サービスの領域を広げ、新たなニーズにお応えすること。それが私たちの使命だと考えます。視界が変わると毎日が変わり、毎日が変わると人生が変わります。「視力の提供を通じ、信頼できるパートナーとしてお客様の人生と関わってゆきたい」という想いから、お客様の瞳の未来を見つめ、生涯にわたって一人ひとりにふさわしい「見える喜び」をお届けするため、さらに大きく視野を広げていきます。

また、コンタクトレンズを中心としたビジョンケア事業に加え、ヘルスケアやライフケアの領域にも果敢にチャレンジしています。「みる」を「五感を通じて楽しみや喜びを感じて共感し合うこと」と捉え、より豊かで笑顔あふれる日々の実現に向け、様々な境遇やライフステージに適した「みる」を提案し続けていきます。



<トレンド>

当社は、コンタクトレンズ事業において、定額制コンタクトレンズ「メルスプラン」を提供しています。

こちらはお客様に安心してコンタクトレンズを使用していただけるサービスであり、現在、全国 134 万人以上の会員様にご利用いただいています。お客様の瞳の健康を守るとともに、会社にとっても経営基盤を支える重要な役割を果たしています。このメルスプランに加えて、今後はより積極的にグローバル展開を目指していきます。それを支えるチャレンジとして具体的には、コンタクトレンズの生産ラインの開発や保全を担う「技術開発」や商品の安定供給を担う「生産物流体制の強化」などを挙げています。特に 2022 年 8 月から建設開始、2025 年から生産開始を予定しているマレーシア工場は、メニコングループの中でも最大規模の工場となり、既存のシンガポール工場と合わせ、国際市場での事業成長を牽引する基盤となることが期待されています。

その他に当社は、働き方改革にも力を入れています。「スマートクリエーション」をスローガンに掲げ、社員の心身の健康や社員間のコミュニケーション促進を考えた職場環境の整備を通じて、業務の生産性と満足度の向上に取り組んでいます。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File59 株式会社モリタ

本社所在地：〒564-8650 大阪府吹田市樽水町3丁目33番18号



商社

<会社概要>

『健康で豊かな人生を支える歯科医療』

モリタは、日本に歯科医療が生まれた明治の頃から、100年以上にわたり業界と共に歩んできた企業。

そのミッションは、人々の健康で笑顔あふれる心豊かな生活創造に役立つ最高の商品とサービスを提供し続けることによって、幸福な社会の実現に貢献することにあります。歯科医療を通して、多くの人の生活を、人生を豊かにしていく「Quality of Life」の向上。これこそが、歯科医療業界で働く価値です。未来の歯科医療業界を切り拓いていくため、モリタはこれからも成長を続けていきます。

『歯科医療業界の No.1 商社だからこそ』

創業して 108 年目の、歯科医療に関わるあらゆる製品・情報を提供してきた歯科医療総合商社。卸販売では 58.1%のシェアを獲得。取り扱いアイテムは 12 万点を超え、歯ブラシ 1 本から数千万円の大規模機器まで多岐にわたります。

また歯科医院開業をサポートするなど、歯科業界に欠かせないリーディングカンパニーとして、その地位を不動のものにしています。

当社が新しいチャレンジをするということは、業界に新しい風を吹かせるということ。歯科業界の未来を見据えて常に新しいものを世に送り出せる、そんな仲間を募集しています。



<トレンド>

『診療環境を作るプロとして』

我々のやりがいは、性別・年齢・国籍問わず、口腔内の健康維持に関する商品やサービスを世界中に提供できること。具体的にはドクターや歯科衛生士、歯科技工士など、診療現場に関わる方々にあらゆる商品や情報を提供します。また、商品の提供のみではなく、開業時のご相談や日々の医院経営に関わるアドバイスまでさせていただくこともあります。歯科医師が【診療のプロ】なら、モリタは【診療環境を作るプロ】。

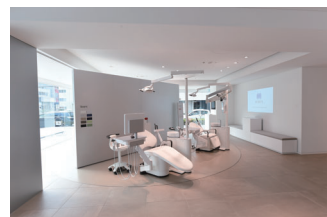
私たちモリタも、世界の笑顔を支える 1 社として、人々の健康で笑顔溢れる心豊かな生活創造に向けて社会貢献して参ります。

『グローバルスタンダードをモリタから』

歯科診療で今やグローバルスタンダードとなった水平位診療。このスタイルを実現させたのはモリタです。

「人間が中心」をコンセプトに時代に先駆けて歯科診療を支え、1964 年の開発時には全米歯科医学会をはじめ、各方面から話題を集めました。

そして最近では、医療ミスを防ぐための歯科手術トレーニングシステム MR 技術を共同開発し、歯科医療業界に革命をもたらしています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



File60 株式会社モリタ製作所

本社所在地：〒601-8533 京都府京都市伏見区東浜南町 680



メーカー

<会社概要>

モリタ製作所は、伝統の街・京都で歯科用機器・耳鼻咽喉科用機器・画像診断用機器・教育実習用機器等を開発・製造し、世界に向けて製品を提供しているメーカーです。「質の高い医療の普及のため 最良の製品・サービスを提供し 社会に貢献する」この経営理念のもと、歯科業界を中心に長年医療の発展に 100 年以上貢献しております。その歴史の中で培い、積み重ねてきた技術と知識は、今や世界各国で多くの先生方の支持と信頼を獲得しております。また、診療する医師やアシスタントの動きや使いやすさ、診療を受ける患者さんの気持ちや快適性などを踏まえものづくりを行う際、「人」を大切に、臨床現場から学び、臨床現場の夢やアイデアを実現することで「人にやさしい製品」を生み出しております。



<トレンド>

【新製品】

昨年の 2022 年 9 月 24 日・25 日開催の「近畿デンタルショー 2022」にて、2020 年の発売以来、大変ご好評を頂いております歯科用診療台「Spaceline ST」の新たなモデル「Spaceline ST BM」を発表致しました。現状に関しましては、大変多くの受注を頂いており、社員一丸となって生産対応をしております。

【エンゲージメントの更なる向上を目指して】

「社員一人ひとりが夢と誇りと自信を持ち、イキイキと働ける会社になること」を目標に全社員でエンゲージメント向上の取り組みを行っています。社内の「心理的安全性」をより高め、更に創造的な仕事ができるように様々な活動をしています。最近では「部長」「課長」などの、役職で呼び合っていたのを社員全員「さん」付けで呼び合うことにより、より距離を縮め、さらに親密な関係性が持てるような取り組みをしております。

【人材育成】

モリタ製作所は世界を舞台に発展し続けるため、グローバル人材育成を展開しております。当社にはグローバルキャリアプラン制度があり、年に1度社内公募を行い、海外でチャレンジしたいという要望をもつ社員を発掘し、育成しています。海外においても医療の発展に貢献できるような活動を行うための人材育成を行っています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！

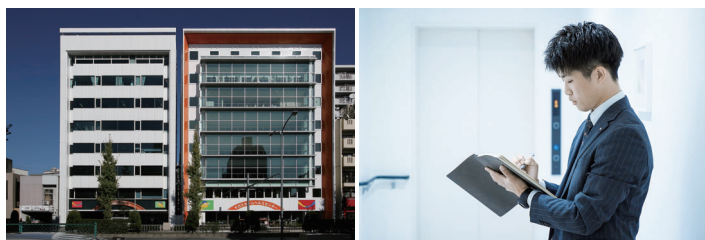


File61 株式会社八神製作所

本社所在地：〒460-8318 愛知県名古屋市中区千代田2丁目16番30号

<会社概要>

当社は医療機器専門商社です。社名が「製作所」であることは、当社の前身である「八神商店」が明治初期の創業当初、薬の管理のために必要とされた「投薬ビン」を製造していたことが由来です。医療器材、医療雑貨の取り扱いから始まった当社は、150年という長い歴史において、医療だけでなく、介護、保健の分野においても様々な事業を展開してきました。現在は、すべての人の健康のために、地域社会とつながり、予防・医療・介護のサービスを通じて、総合的に「人」を支える企業であることを目指しています。



<トレンド>

■ 2023.9 AIを用いた重症患者管理アプリ開発企業に対する出資
当社が運営する「YAGAMI Healthcare Fund」より、「株式会社 CROSS SYNC」に対し出資いたしました。「医療現場のナレッジと最先端のAI技術を組み合わせることで、あらゆる病床でICU並みの医療を提供出来る世界の実現」を目指すCROSS SYNC社の取り組みを支援することで、予防・医療・介護の幅広いフィールドから人生100年時代の健康を支える「Human Care Company」として、ヘルスケア領域における社会課題解決に貢献してまいります。

■ 2023.3 「高齢者交通安全サポーター」加入のお知らせ
当社が運営する、介護用品・福祉用具の販売及びレンタル/住宅改修事業の店舗「ヤガミホームヘルスセンター名古屋」ほか4店舗が、愛知県警察の「高齢者交通安全サポーター」に加入しました。「高齢者交通安全サポーター」に加入した愛知県下の5店舗では、運転免許証を自主返納され「運転経歴証明書」を取得された方以外にも、「サポートカー限定免許」を取得された方も対象に、購入金額の割引などの特典をご用意いたしました。高齢者が当事者となる交通事故を少しでも減らせるよう、社会貢献活動の一つとして取り組んでまいります。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら!

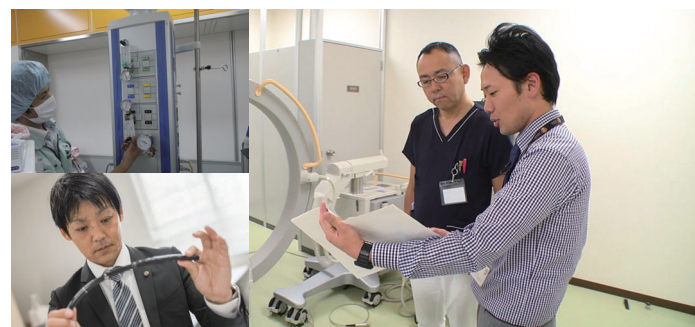


File62 山下医科器械株式会社

本社所在地：〒812-0027 福岡県福岡市博多区下川端町2番1号 博多座西銀ビル10階

<会社概要>

山下医科器械は長崎県で創業し97年、九州一円で事業展開を行う医療機器総合商社です。MRIやCTなどの画像診断装置、内視鏡システム、手術台、無影灯、電気メスなどの手術機器から整形インプラント、各種カテーテル、ディスポーザブル医療材料までのハードだけではなく、院内物品管理システム(SPD)、電子カルテ・医事・オーダリング医療情報システムなどのシステム、さらに医療機器のメンテナンスや医療廃棄物収集運搬、新規開業支援などのサービスに至るまで、幅広いニーズにお応えできる『トータル・メディカル・サポート企業』として、地域に密着しながら医療機関のパートナーとして社会に貢献してきました。新型コロナウイルス感染拡大、高齢化社会の加速、技術の目覚ましい進歩などの環境変化に対して高い専門性と総合力で変革と挑戦を続けながら「百年企業」を目指しています。東証スタンダード市場上場「ヤマシタヘルスケアホールディングス(株)」のグループ中核会社として、特に内視鏡システム関連、IVR関連などの患者様の身体的負担が少ない低侵襲治療分野の販売を強みとし、医療機器ディーラーでは九州トップクラスのシェアを獲得しております。



山下医科器械株式会社

<トレンド>

『すべての従業員にとって、その一生をかけて悔いのない会社』
約50年前に作成した5つの基本方針の一番目に「すべての従業員にとって、その一生をかけて悔いのない会社たること」という言葉を掲げています。近年では健康経営やダイバーシティ&インクルージョンの推進に力を入れており、全ての社員に長く勤めてもらって、山下医科器械にいて良かったと思ってもらえる環境づくりを目指しています。

『今後会社が目指す姿』
従来のトータル・メディカル・サポートで地域医療に貢献する事業におけるスローガンに加え、近年ではDX新技術を活用した新たな製品・サービスの開発・提供に取り組む事業を推進するなど、新規事業の展開を行っています。一方で、医療技術も目覚ましく進化を続けていますので、「これまでの医療」と「これからの新技術」を掛け合わせ融合させ、新たなものを生み出していき、新しい時代においても発展と進化を続けていきたいと考えています。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら!



本社所在地：〒110-8507 東京都台東区上野7丁目6番9号

<会社概要>

ヨシダは歯科医療に関わる各種製品の企画・開発・輸入・販売などを行うメーカー兼総合商社です。1952年には電動油圧ポンプで動く治療イス、1958年には痛みを緩和し治療時間の短縮ができるエアタービンなど、今の歯科治療の礎となる製品を続々と開発。現在も全国の歯科クリニックや大学、病院などの歯科医療関係者を支援する幅広い製品やサービスをご提供しています。東京本社を中心に、北海道から沖縄まで40拠点以上を展開。各地で事業を行う歯科

医院の最も身近なパートナーとして、お客様の立場に立ったサービスをご提供しています。治療に使われる小さなアイテムから数千万円規模の大型機材まで、豊富な製品ラインアップが特長です。製品によっては国内で50%を超える販売シェア(※)を誇り、歯科業界で抜群の実績と知名度を有しています。

(※)「株式会社 R&D 刊 歯科機器・用品年鑑(2022年)」より



<トレンド>

< DNA(Dental Next Action) の推進 >

人々の健康と笑顔を守る身近な社会インフラとして歯科医療の価値を高め、また歯の健康について考える機会を創出する「DNA(Dental Next Action)」に取り組んでいます。

歯科医療にとどまらず、より広い意味での医療や食育、スポーツなどの専門家・スペシャリストとコラボレーションした講演会の開催や、患者様・ドクター双方の目線からお互いが使いやすいクリニック空間を提案する体験型ショールーム&ラーニングスタジオの運営など、独自の取り組みで新たな歯科医療のカタチをご提案しています。



< 歯科医療を次世代につなげる取り組み >

歯科医療に必要な製品を提案するだけでなく、新たなクリニックの開業や経営に関するコンサルティング支援なども手がけています。また2020年には歯科医院の事業継承サービス『D-Transit』を開始。高齢化が進む歯科業界で、後継者探しをサポートすることで地域医療の維持や活性化につなげていきたいと考えています。

もっと詳しく企業を知りたい方はこちら!



本社所在地：〒441-0105 愛知県豊川市伊奈町新屋279

<会社概要>

リッツメディカルは、眼科の医療機器に特化した会社です。私たちは国内で珍しい眼科専門の商社として、深い専門知識と経験を活かして、大学病院、総合病院、眼科クリニックに対して、製品の提供からメンテナンス、クリニックの開業まで幅広くサポートしています。

私たちのスローガンは「人と社会を、明るく、クリアに、カラフルに。」です。このスローガンを基に、目の病気を早期に見出し、より質の高い医療環境を築くお手伝いをしています。私たちは「見える喜び」を提供し、眼科分野で人と社会に貢献するライフビジョンカンパニーを目指しています。



人と社会を、
明るく、
クリアに、
カラフルに。

<トレンド>

当社は、「気持ちのいい挨拶」「気持ちのいい感謝」「笑顔あふれる職場」を大切にしています。そして私たちは、全社員が同じ目的に向かって日々変化し続けていくことが目標達成に繋がると信じています。そのための、行動指針として「25のプロジェクト」を策定し、各チームはその実現を目指して努力しています。

また、社員が笑顔で働ける環境づくりの一環として、オフィスの改装を進行中です。新しいオフィスは、木の温かみと緑を基調とした、落ち着いたスタイリッシュなデザインを採用しており、社員同士が気軽にコミュニケーションを取れるミーティングスペースを充実させています。ここで、お客様に喜ばれるアイデアを共に考えたり、自己成長を実感できる場を提供し、より良い職場環境を築いていくことを目指しています。



もっと詳しく企業を知りたい方はこちら!





<会社概要>

当社は音響学・物理学の研究所を母体として生まれ、今年創業 79 年を迎えた、東証プライム市場上場の医療機器・計測機器のメーカーです。「すべての行動を通して 人へ社会へ 世界へ貢献する」という企業理念のもと、安心・安全を提供し続けてきました。1948 年日本初の量産補聴器を発売し、国内シェア No.1 ブランドの『リオネット補聴器』はコミュニケーションできる喜びを届けたいという思いから製品開発をおこなっています。また、耳科関係で使用される当社の各種医用検査機器は、大学病院からクリニックまで、多くの医療機関に導入され、難聴治療に欠かせない先進の診断技術の普及に貢献しています。微粒子計測器事業は世界的な半導体需要が継続するなかで、半導体工場で使用される液中微粒子計の販売が好調です。そのほかにも騒音計、振動計、地震計など、産業や環境に関する分野で利用される音響・振動計測器を展開しています。常に時代のニーズに対応した製品開発を行い、国内外で高い評価を得ています。



<トレンド>

2023 年 8 月に充電式耳あな型オーダーメイド補聴器「リオネット2」を発売いたしました。本製品では、最新のデジタル信号処理技術と AI（人工知能）を組み合わせた騒音抑制機能や、衝撃音低減機能などによる自然で豊かな聞こえと、スマートフォンアプリを用いたセルフ調整機能などによる使いやすさの向上を実現しています。またリオンは、年齢、世代を問わず、すべての人へ聞こえの新たな価値を提供するために、当社の補聴器開発の知見に加え、独自開発したバイノーラル（両耳）信号処理技術を用いた聴覚拡張ヒアラルウェア「ASMOLA®（アスモラ）」を開発するなど、新しい技術やサービスにも積極的に挑戦しています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



<会社概要>

当社は「医療、福祉、保健に関わる人たちのすべてのニーズに応え、付加価値を提供していく」ことをミッションとし、2001 年に設立した医療系総合商社です。医療機関に関するさまざまなコンサルティング業務、新築・移転、再編・統合のための企画・設計業務、医療情報システム等を構築する IT ネットワーク業務、医療機器導入後のアフターサービスを行うメンテナンス業務をワンストップで提供することにより、医療機関をトータルでサポートできる日本でも数少ない企業であると自負しています。2001 年に大阪府吹田市にて設立し、現在の活動拠点は本社（大阪府摂津市）と東京事務所（東京都港区）の 2 か所、営業範囲は全国に渡ります。2019 年 10 月 東証二部（現在はスタンダード市場）に上場した、上場企業としても発展途上の会社です。



<トレンド>

「病院をつくる」という仕事
当社は、病院の移転新築プロジェクトに深くかかわる「病院をつくる」仕事を主軸とした事業を行っています。

みなさんは、病院が新しく生まれ変わる場面をみたことがありますか？
医療機器が日々進化していることはもちろん、時間の経過に伴い病院の建物や設備も古くなっていきます。新しい機械を使うためには、新しい機械に対応した建物や設備が必要となります。「今の医療」を提供するために、病院は定期的に建替え（新築移転）を行います。また、新築移転プロジェクトはこれからの病院のあり方や経営方針についても、深く関わる重要なプロジェクトです。
全国的にも、病院の移転新築について、総合的なノウハウを持っている企業は希少です。
特に医療 × 建築 × IT のノウハウを持った当社は、病院が新しく生まれ変わるタイミングで「いい病院をつくるために」不可欠な役割を担っています。



もっと詳しく企業を
知りたい方はこちら！



医機ナビには他にも企業の情報が満載！



＜企業情報＞

MD GUIDE には掲載がない
企業情報も掲載！各社 HP や
採用ページにも簡単にアクセ
スできます。

Check !



＜インターンシップ情報＞

ヘルスケア・医療機器業界の
インターンシップ情報を掲載
中！情報は随時更新！

Check !



ちょっとブレイク！

医療機器クイズ



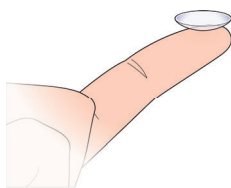
1. 次のうち、日本人が発明した医療機器はどれでしょうか？

A



血圧計

B



コンタクトレンズ

C

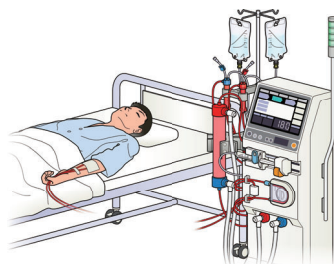


パルスオキシメータ

答えはこちら！



2. 人工透析器はどの臓器の代わりとなる医療機器でしょうか？



A

膀胱

C

肝臓

B

腎臓

D

心臓

答えはこちら！



ヘルスケア・医療機器業界で働く 先輩の インタビュー

医機ナビではヘルスケア・医療機器業界で活躍する先輩のインタビューを実施しています。まだ記事を読んでいない方はぜひ読んでみてください！



サクラファインテックジャパン株式会社

記事はこちらから！



日本光電工業株式会社

記事はこちらから！



テルモ株式会社

記事はこちらから！



オリンパス株式会社

記事はこちらから！



日機装株式会社

記事はこちらから！





アトムメディカル株式会社

記事はこちらから！



株式会社日立製作所

記事はこちらから！



帝人ファーマ株式会社

記事はこちらから！



独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）



記事はこちらから！



ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

記事はこちらから！



株式会社シード

記事はこちらから！



医機ナビではこれからもヘルスケア・医療機器業界で活躍する先輩のインタビューを実施していきますので楽しみに！！



医機ナビ

QRコード



就活生向け

ヘルスケア・医療機器業界 情報発信ウェブサイト エブサイト



普段目に触れることが少ない医療機器業界
医療機器のこと、業界のこと、先輩の声などの情報をお届け！
医療機器業界の業界研究は『医機ナビ』(いきナビ)にお任せください！

CONTENTS

医療機器って何？



業界を知ろう！



教えて先輩！



etc...

隔週木曜日に記事更新!医機ナビ主催のイベント情報も掲載します!

MD GUIDE

—医療機器業界のTRENDガイドブック—

2023-2024

2023 年 11 月 15 日 発行 第 1 版

編集・発行：一般社団法人日本医療機器産業連合会
魅力発信部会

公益財団法人医療機器センター



医機連

一般社団法人 日本医療機器産業連合会
JFMDA
The Japan Federation of
Medical Devices Associations



一般社団法人日本医療機器産業連合会

〒162-0822

東京都新宿区下宮比町 3-2 飯田橋スクエアビル 8FB



公益財団法人

医療機器センター



公益財団法人医療機器センター

〒113-0033

東京都文京区本郷 1-28-34 本郷 MK ビル 2 階

SNS で最新情報配信中



X(旧 Twitter)

※当冊子に関するお問い合わせはこちら

公益財団法人医療機器センター 医機ナビ事務局

ikinavi@jaame.or.jp

※当冊子の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます

MD GUIDE 2023-2024



医機ナビ



医機連

一般社団法人 日本医療機器産業連合会
JFMDA
The Japan Federation of
Medical Devices Associations



公益財団法人
医療機器センター